令和3年9月定例議会

一般会計補正予算（第6号）にかかる

事業説明書

目　次

総務課	2
企画政策課	3
商工観光課	4
税務課	5
農林水産課	6
すこやか健康課	7
福祉あんしん課	8
子育て応援課	9
建設住宅課	10
上下水道課	11
教育総務課	14
社会教育課	15

令和 3 年度 事業説明書

1　基本情報　　一般会計

事業番号	5	事業名	一般管理事務			事業区分	□新規 ■継続	
担当課	総務課			担当係	行政総務室			
予算区分	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	1	一般管理費

2　補正後の事業費等

項目	補正前	今回補正額	財源内訳					備考
			国庫支出金	県支出金	その他	起債	一般財源	
6号補正9月定例	62,983	1,430	0	0	0	0	1,430	
補正後		64,413					64,413	

3　事業の概要

補正の概要

地方公務員法の一部を改正する法律施行に伴い、令和5年度より定年延長制度の導入が必須となっている。本制度導入には令和4年6月議会での関係条例改正が必要であり、実態把握・制度改定影響精査・条例規則改定検討などを短期間に行うには専門業者による支援が必要なため、支援業務を委託実施する。

補正の内容

（単位：千円）

細事業等	内容	補正額	財源内訳
定年延長制度導入支援業務委託料	定年延長制度導入に伴い、専門業者に下記業務を委託実施し、円滑かつ適正な制度導入を図る。 １　制度理解研修（専門研究員による研修の実施） ２　例規整備（例規影響調査、例規案作成など） 【整備想定主要例規】 琴浦町職員の定年等に関する条例 琴浦町職員の再任用に関する条例及び規則 琴浦町職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び規則　など ３　Q&A集の提供（ヘルプデスク機能を含む）	1,430	単町
合計		1,430	

これまでの取組状況や改善点等

令和 3 年度 事業説明書

1　基本情報

事業番号	711	事業名	庁舎管理			事業区分	□新規 ■継続	
担当課	総務課			担当係	行政総務室			
予算区分	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	1	一般管理費

2　補正後の事業費等

項目	補正前	今回補正額	財源内訳					備考
			国庫支出金	県支出金	その他	起債	一般財源	
6号補正9月定例	23,022	2,563					2,563	
補正後		25,585					25,585	

3　事業の概要

補正の概要	保健センターのエアコンが老朽化により、度々故障が発生。 製造（平成11年）から年数が経過し、修理対応が困難になっている。エアコン設備の更新に向けた対応を行うにあたって、設計業務の委託が必要であるため、委託料の増額を行うもの。
補正の内容	（単位：千円）
これまでの取組状況や改善点等	

細事業等	内容	補正額	財源内訳
委託料	保健センターのエアコン設備更新に向けて、必要な空調能力や電気及び配管等の設計を委託するもの。 保健センター空調設備改修工事設計業務　　2,563,000円	2,563	単町
合計		2,563	

令和 3 年度 事業説明書

1　基本情報　　一般会計

事業番号	1231	事業名	子どもの遊び環境整備事業			事業区分	□新規 ■継続		
担当課	総務課			担当係	施設管理室				
予算区分	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	7	企画費

2　補正後の事業費等

項目	補正前	今回補正額	財源内訳					備考
			国庫支出金	県支出金	その他	起債	一般財源	
6号補正 9月定例	5,389	319					319	
補正後		5,708					5,708	

3　事業の概要

補正の概要	４月以降に地元より指摘のあった公園管理の不備を解消するため、補正を行う。
補正の内容	（単位：千円）
これまでの取組状況や改善点等	

細事業等	内容	補正額	財源内訳
逢束ふれあい広場支障木等伐採作業	【逢束ふれあい広場・樹木剪定】 逢束ふれあい広場の松の木が生育し、枝が民地に侵入している。枝の高さが4.0m程度有り、住宅にも近接しているため、高所作業車を利用した剪定を委託する。	319	単町
合計		319	

令和 3 年度 事業説明書

1　基本情報　　**一般会計**

事業番号	615	事業名	財産管理（普通財産）		事業区分	□新規 ■継続
担当課	総務課		担当係	財務監理室		
予算区分	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	5	財産管理費

2　補正後の事業費等

項目	補正前	今回補正額	財源内訳					備考
			国庫支出金	県支出金	その他	起債	一般財源	
6号補正 9月定例	7,689	1,254					1,254	
補正後		8,943					8,943	

3　事業の概要

補正の概要

町有地、施設等を適切に維持管理するため、支障枝等伐採作業及び施設の修繕を行う。

補正の内容

細事業等	内容	補正額	財源内訳
町有地支障枝等伐採作業	【朝日町住宅団地斜面の防風林・支障枝伐採作業】 ・住宅団地斜面への防風林伐採を行うことで、住宅への倒木を防ぎ、危険を伴う支障枝についても伐採を行う。 【勾地区支障枝伐採作業】 ・道路にはみ出た支障枝の伐採を行う。 【その他町有財産支障枝伐採作業】 ・倒木などの災害危険がある町有財産内支障枝等について、必要に応じ伐採作業を行う。	1,000	単町
旧以西小学校電気施設の修繕	【旧以西小学校のキュービクル筐体修繕・渡り廊下電灯の修繕】 ・法定点検の結果、キュービクル筐体の劣化、及び渡り廊下電灯の絶縁抵抗値低下を指摘された。安全を確保するため、修繕を行う。	254	単町

朝日町住宅団地支障枝・防風林





勾地区道路支障枝



これまでの取組状況や改善点等

令和 3 年度 事業説明書

1　基本情報　　一般会計

事業番号	1539	事業名	ふなのえこども園・成美地区公民館建設事業	事業区分	■新規　□継続
担当課	総務課		担当係	施設管理室	
予算区分	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	5	財産管理費

2　補正後の事業費等

項目	補正前	今回補正額	財源内訳					備考
			国庫支出金	県支出金	その他	起債	一般財源	
6号補正9月定例	26,558	53,000				79,500	△ 26,500	過疎対策事業債　79,500千円
補正後		79,558				79,500	58	

3　事業の概要

補正の概要	ふなのえこども園と成美地区公民館の建設に向けての用地の取得。

補正の内容

（単位：千円）

細事業等	内容	補正額	財源内訳
用地購入費	ふなのえこども園・成美地区公民館用地　10,000㎡×5,300円 （見込み） ・ふなのえこども園部分（園舎・園庭）　7,200㎡ ・成美地区公民館部分　800㎡ ・共有駐車場部分　2,000㎡	53,000	単町
合計		53,000	

これまでの取組状況や改善点等	ふなのえこども園あり方検討会の開催、保護者説明会の開催、公民館・こども園視察

令和 3 年度 事業説明書

1　基本情報　　**一般会計**

事業番号	859	事業名	起債繰上償還元金			事業区分	□新規 ■継続
担当課	総務課			担当係	財務監理室		
予算区分	款	11	公債費	項	1 公債費	目	1 元金

2　補正後の事業費等

項目	補正前	今回補正額	財源内訳					備考
			国庫支出金	県支出金	その他	起債	一般財源	
6号補正 9月定例	1,320	108,497			108,000		497	減債基金　108,000千円
補正後		109,817					109,817	

3　事業の概要

補正の概要	減債基金及び令和３年度の普通交付税を財源とし、持続可能な健全財政を行うため、過去の高利率の町債の元金を繰上償還するもの。
補正の内容	（単位：千円）

細事業等	内容	補正額	財源内訳
償還金(元金)	・平成14年度学校教育施設等整備事業債　26,778千円 ・平成19年度臨時財政対策債　81,719千円	108,497	単町
合計		108,497	

これまでの取組状況や改善点等	

令和 3 年度 事業説明書

1　基本情報　　一般会計

事業番号	1063	事業名	定期借地権設定事業			事業区分	□新規 ■継続	
担当課	総務課			担当係	財務監理室			
予算区分	款	2	総務費	項	1 総務管理費	目	12	諸費

2　補正後の事業費等

項目	補正前	今回補正額	財源内訳					備考
			国庫支出金	県支出金	その他	起債	一般財源	
6号補正 9月定例	7,000	16,684					16,684	
補正後		23,684					23,684	

3　事業の概要

補正の概要	４月以降の定期借地権の申込があったため分譲地を取得し、定期借地権による貸付けを開始する。

補正の内容

（単位：千円）

細事業等	内容	補正額	財源内訳
定期借地権設定事業	きらり　67区画　6,773千円（町内からの定住者） 48区画　6,004千円（町外からの定住者） 槻下南　11区画　4,833千円（町内からの定住者） 小計 17,610千円 補正予算額：16,684千円 （必要経費17,610千円 － 予算残額926千円） 【参考】 ●本年度の分譲状況（補正前） 定期借地権　1件（きらり団地１区画） ●補正後本年度末残区画数 きらり団地：27区画 槻下団地　：1区画	16,684	単町
合計		16,684	

これまでの取組状況や改善点等	

令和 3 年度 事業説明書

1　基本情報　　一般会計

事業番号	242	事業名	消防施設経費			事業区分	□新規 ■継続	
担当課	総務課			担当係	防災危機管理室			
予算区分	款	8	消防費	項	1 消防費	目	3	消防施設費

2　補正後の事業費等

項目	補正前	今回補正額	財源内訳					備考
			国庫支出金	県支出金	その他	起債	一般財源	
6号補正 9月定例	12,491	1,738					1,738	
補正後		14,229		764		1,000	12,465	

3　事業の概要

補正の概要	老朽化等により使用できない消火栓の修繕を行う。
補正の内容	【6号補正（９月）】　（単位：千円）

細事業等	内容	補正額	財源内訳
消火栓等修繕・維持管理業務	○消火栓修繕負担金　1,738千円 修繕箇所（4箇所） 松ヶ丘2箇所、下市1箇所、野田1箇所 @395千円×4箇所×1.1	1,738	単町
合計		1,738	

これまでの取組状況や改善点等	

令和 3 年度 事業説明書

1　基本情報　　一般会計

事業番号	1422	事業名	ICT化推進事業			事業区分	■新規	□継続
担当課	総務課			担当係	情報政策係			
予算区分	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	9	電算機管理費

2　補正後の事業費等

項目	補正前	今回補正額	財源内訳					備考
			国庫支出金	県支出金	その他	起債	一般財源	
6号補正9月定例	5,738	297					297	
補正後		6,035					6,035	

3　事業の概要

補正の概要	ペーパレス会議システムにおいて、議会での使用に加えて、各種会議や計画策定においても利活用を進めた結果、クラウドのデータ保存容量に不足が生じたため、容量の追加を行う。
補正の内容	（単位：千円）

細事業等	内容	補正額	財源内訳
ペーパレス会議システム使用料	【クラウドデータ保存容量追加】 〇10GB追加（10GByte単位）：49,500円×6ヶ月＝297,000円 　システム導入時の基本容量1GBをデータ整理しつつ運用していたが、保存容量の不足を来したため、今後3ヶ年分の議会資料データを保存できる容量を確保する。 　容量拡張後においても、適宜データ整理を行うことにより、過度なデータ量の増加を防ぎ、追加容量の範囲で運用する。	297	単町
合計		297	

これまでの取組状況や改善点等	

令和 3 年度 事業説明書

1　基本情報

一般会計

事業番号	1519	事業名	新型ｺﾛﾅｳｲﾙｽ感染症対策事業（総務課）	事業区分	□新規 ■継続
担当課	総務課		担当係	行政総務室	
予算区分	款	1	総務費	項	2	総務管理費	目	11	新型コロナウイルス感染症対策費

2　補正後の事業費等

項目	補正前	今回補正額	財源内訳					備考
			国庫支出金	県支出金	その他	起債	一般財源	
6号補正9月定例	0	2,600	2,600				0	
補正後		2,600	2,600				0	

3　事業の概要

補正の概要

オンライン会議は、職員移動抑制のほか、リアルタイムでの情報共有や意思決定が可能であり、利用が進んでいるが、多数の機器を設置・接続する煩雑さがあり、円滑な会議開始の妨げとなっている。
必要な機器及びソフトウェアを一体化した機器を導入することで、より一層のオンライン会議の利活用を図るため、購入費用の増額を行うもの。

細事業等	内容	補正額	財源内訳
備品購入費	【オンライン会議システム『Zoom』用一体型専用装置購入】 オンライン会議を行うための、『タブレット（ソフトウェア）』『カメラ』『マイク』『スピーカ』『モニター』をワンパッケージにした装置を導入する。 1,300千円×2台（本庁舎⇔分庁舎）＝2,600千円	2,600	国 （10/10）
合計		2,600	

【従来】



【機器導入イメージ】



オンライン会議に必要な機器・ソフトウェアがワンパッケージで利用。
相手方機器の呼び出しで会議の開催が可能。
本庁舎－分庁舎の協議等が簡易に行えることから、オンライン会議の利活用を更に促進し、庁舎間の職員移動が抑制可能。防災面でも迅速な防災対策会議を行う上でも有効。

これまでの取組状況や改善点等

令和 3 年度 事業説明書

1　基本情報

一般会計

事業番号	15	事業名	光ケーブル施設維持管理事業			事業区分	□新規 ■継続		
担当課	企画政策課			担当係	企画担当				
予算区分	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	6	CATV管理費

2　補正後の事業費等

項目	補正前	今回補正額	財源内訳					備考
			国庫支出金	県支出金	その他	起債	一般財源	
6号補正 9月定例	55,160	1,980					1,980	
補正後		57,140			26,820		30,320	

3　事業の概要

補正の概要	・町光ケーブル関連機器のD-ONU(光終端装置)の在庫数が無いため、購入するもの。

補正の内容

（単位：千円）

細事業等	内容	補正額	財源内訳
D-ONU購入	町光ケーブル関連機器のD-ONU(光終端装置)の在庫数が無いため、購入するもの。 ・昨年度の使用実績　　74台 ・現在の在庫数は残り　　2台(R3.4～7使用実績23件) D-ONU解約世帯等から回収(70台)を行い、機器を確保しているが、コロナ禍により機器の発注から納品までに半年以上かかる見込み。 令和4年度当初発注では納品が10月ごろとなるため、令和4年4月以降の在庫を確保するもの。 @36,000円×50台×1.1＝1,980,000円	1,980	単町
合計		1,980	


ONU(V・D一体型)


D-ONU組み込み前


D-ONU組み込み後

令和 3 年度 事業説明書

1　基本情報

一般会計

事業番号	618	事業名	琴浦町総合計画・地方創生戦略事業	事業区分	■新規　□継続
担当課	企画政策課		担当係	企画担当	
予算区分	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	7	企画費

2　補正後の事業費等

項目	補正前	今回補正額	財源内訳					備考
			国庫支出金	県支出金	その他	起債	一般財源	
6号補正9月定例	883	46					46	
補正後		929					929	

3　事業の概要

補正の概要	旧赤碕町が過疎地域指定となったことに伴い、鳥取県地域振興対策協議会過疎地域振興部会に加入する。
補正の内容	（単位：千円）
これまでの取組状況や改善点等	

細事業等	内容	補正額	財源内訳
県地域振興対策協議会（過疎地域振興部会）負担金	支部負担金10千円、全国負担金36千円	46	単町

令和 3 年度 事業説明書

1　基本情報

一般会計

事業番号	38	事業名	地域交通対策事業			事業区分	□新規 ■継続	
担当課	企画政策課			担当係	企画担当			
予算区分	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	7	企画費

2　補正後の事業費等

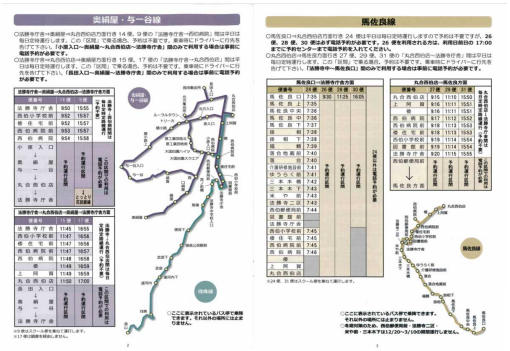
項目	補正前	今回補正額	財源内訳					備考
			国庫支出金	県支出金	その他	起債	一般財源	
6号補正9月定例	107,618	1,149					1,149	
補正後	108,767			29,372	7,780		71,615	

3　事業の概要

補正の概要	・令和４年度から町営バスの運行計画を変更するにあたり、新たな時刻表を作成する。 ・スクールバス車両の改造費用を請負実績により減額する。 ・6月上旬の強風により破損した八橋東口バス停の屋根を修繕する。 ・老朽化した赤碕港入口バス停待合所を撤去する。

補正の内容

（単位：千円）

細事業等	内容	補正額	財源内訳
時刻表作成費	・令和4年度より町営バスの運行計画を変更するにあたり、ダイヤの接続確認など運行時刻の精査を行い、新たな時刻表を作成する。 ・現在の時刻表はA2両面印刷であるが、変更内容を分かりやすく伝えるため、各路線ごとにバス停位置図や時刻を表記した冊子として作成する。 ・7,000部作成　全戸配布  ←他町の時刻表の例	478	単町
スクールバス車両改造費	6月定例会にて車両回送費を計上したが、県内での作業が可能であり不要となったため。	△ 572	単町
八橋東口バス停修繕工事	6月上旬の強風により破損した八橋東口バス停待合所の屋根を修繕する。 当該バス停には一定の利用者があり、雨天の場合には待合所が使用されている。  ←八橋東口バス停待合所	583	単町

	赤碕港入口バス停解体撤去工事	赤碕港入口バス停待合所が経年劣化によりコンクリート屋根部分が破損しており、崩落の危険性もあるため解体撤去するもの。  	660	単町
	合計		1,149	
これまでの取組状況や改善点等				

令和 3 年度 事業説明書

1　基本情報

一般会計

事業番号	1193	事業名	地域おこし協力隊活動事業			事業区分	□新規 ■継続	
担当課	企画政策課			担当係	人口対策担当			
予算区分	款	2	総務費	項	1 総務管理費	目	7	企画費

2　補正後の事業費等

項目	補正前	今回補正額	財源内訳					備考
			国庫支出金	県支出金	その他	起債	一般財源	
6号補正9月定例	4,799	1,000					1,000	
補正後		5,799					5,799	

3　事業の概要

補正の概要	地域おこし協力隊起業支援補助金を1名分追加（＋1,000千円） ※R2年度3月末卒業　松尾匠真隊員
補正の内容	（単位：千円） 細事業等／内容／補正額／財源内訳 地域おこし協力隊起業支援補助金：【主旨】隊員の退任後の起業を支援することで卒業後の定住に繋げるため、起業支援補助金の補正をする。 【起業】 ・カフェスタジオ、コワーキングスペースの運営 ・フリーランスになりたい人向けの講座（合宿型）開設 【効果】 フリーランスが滞在している期間に町内の人と関わる機会が増え、町内の人にとっては今までとは違った価値観に触れることができ、新しいきっかけを得ることができる。 補正額：1,000　財源内訳：単町 特別交付税措置 合計：1,000
これまでの取組状況や改善点等	

令和 3 年度 事業説明書

1 基本情報

一般会計

事業番号	1492	事業名	若者応援！惑星コトウラエール便事業	事業区分	□新規 ■継続
担当課	企画政策課		担当係	人口対策担当	
予算区分	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	12	新型コロナウイルス感染症対策費

2 補正後の事業費等

項目	補正前	今回補正額	財源内訳					備考
			国庫支出金	県支出金	その他	起債	一般財源	
6号補正 9月定例	0	1,785	1,785				0	
補正後		1,785	1,785				0	

3 事業の概要

補正の概要

昨年からのコロナ禍により、学生はオンライン授業が主体となり、アルバイトや学生生活に制限が続いている。遠方でつながりを築けないまま、孤立化が進んでいる状況もある。
ふるさとが学生を応援し、支えている気持ちを町内産品として届けることで、故郷への愛着を育み、関係人口として継続的に関わる地盤を形成する。

補正の内容

（単位：千円）

細事業等	内容	補正額	財源内訳
コトウラ出身若者応援事業	【対象者】 ・琴浦町出身、在住の学生(高校卒業後の18歳～30歳未満) ※自宅通学も含む 【実施方法】 ・琴浦町出身の若者に対して、町産品（3,500円相当）を送付。 ・ＱＲコード付きメッセージカード同封。 （読み込むと応援動画が再生され、"町からの思い"を届ける） 【事業費】 1,785千円 消耗品：町産品 /3.5千円×350人＝ 1,225千円 箱 / 90円×200箱＝ 18千円 発送消耗品/ 42千円 通信運搬費：送料/1.4千円×350件= 490千円 委託料：箱詰作業/2.5千円× 4人＝ 10千円	1,785	国費 10/10
合計		1,785	

これまでの取組状況や改善点等

【第1弾】ことうらエール便(高校卒業～30歳未満の学生かつ自宅外から通学する者)
合計208件 1,123千円

【第2弾】大学生等生活応援交付金(平成3年～平成14年に生まれた町内外の学生)
町内在住(50千円)60人 町外在住(100千円)296人 合計356人、32,600千円

若者応援!惑星コトウラエール便

小さいくせに ぜんぶある。 惑星コトウラ

《趣旨》

昨年からのコロナ禍による外出自粛により、学生はオンライン授業が主体となり、友人づくりもできない状況が継続している。遠方でつながりを築けないまま、孤立化が進んでいる。ふるさとが学生等を応援し、支えている気持ちを町内産品として届けることで、故郷への愛着を育み、関係人口として継続的に関わる地盤を形成する。

《交付対象者》

琴浦町出身の高校卒業～30歳未満の者で専門学校、短大、
４年制大学・大学院在学中の者
※自宅から通学する者も含む⇒町内からもニーズがあるため

《支援物資》

・町産品3,500円相当
（メーリングリスト、衛星探索事業コトトーク！と連携して
若者と一緒に内容を考える）
・メッセージカード（ＱＲコード付き）
ＱＲコードを読み込むと町の様子や応援動画を見ることができ、
物資だけでなく”町からの思い”を同封。

《予算》

1,785千円
消耗品：物資　/3.5千円×350人＝1,225千円
箱　/　90円×200箱＝　18千円
その他(発送消耗品＋動画制作委託料)/　42千円
通信運搬費：送料/1.4千円×350件＝　490千円
委託料：箱詰作業/2.5千円×　4人＝　10千円

《申請方法》

インターネット申請のみ。申請専用フォームから申し込み。
（学生証または在学証明書の写真等を添付）
⇒事務負担軽減のため、郵送及び窓口での申請は不可とする。

《ふるさとへの想いを育む》

・事前に若者と一緒に、希望する産品や応援動画などの内容を考える。
（若者メーリングリスト、惑星コトウラ衛星探索事業と連携）
・応援メッセージカード及び応援動画を同封
・箱詰め作業ボランティアの募集(同世代の若者、団体にも声かけ)
・メーリングリストを更新と拡充し、関係人口のきっかけづくりにする。

《昨年の様子》





写真上：エール便の内容
写真右：2020/7/10日本経済新聞掲載
写真下：エール便のメッセージカード
（応援動画付）



エール便には地元ゆかりの商品を盛り込んだ

琴浦町は詰め合わせ

牛丼レトルトや梨の菓子

鳥取県琴浦町は新型コロナウイルス感染拡大で、外出自粛など生活に影響が出ている町出身の大学生ら若者を対象に、地場産品の詰め合わせをプレゼントする。6月下旬と7月下旬の2回で合計500人に宅配便で届ける。同町担当者は「町出身の若者を応援したい一心で実現した」と話す。

「ことうらエール便」と名付け、町はコロナ関連の補正予算案に事業費244万円を計上した。20歳代までの同町出身者で、町外で暮らす大学生や大学院生、短大生、専門学校生が対象。町の試算では1000人程度の対象者がいる見込みで、その半数程度の申し込みを想定している。町産のコシヒカリやひめほなどのブレンド米3㌔や地元業者が製造するカレーや牛丼のレトルトのほか、二十世紀梨の菓子など3000円相当の製品を送る。

QRコードをスマートフォンで読み取ると、同世代の地元の若者が「一緒にがんばろう」と呼びかける動画を閲覧できるメッセージカードも同封する。

令和 3 年度 事業説明書

1　基本情報　　**一般会計**

事業番号	1299	事業名	国県支出金返納金			事業区分	■新規　□継続		
担当課	企画政策課			担当係	人口対策担当				
予算区分	款	12	諸支出金	項	1	諸費	目	1	国県支出金返納金

2　補正後の事業費等

項目	補正前	今回補正額	財源内訳					備考
			国庫支出金	県支出金	その他	起債	一般財源	
6号補正 9月定例	80	60			60		0	転出者の返納金　60千円
補正後		140			60		80	

3　事業の概要

補正の概要	県移住定住推進交付金を受けた移住者が町外に転出したため、交付金を返納するもの。
補正の内容	（単位：千円）
これまでの取組状況や改善点等	

補助金	内容	補正額	財源内訳
県移住定住推進交付金	令和元年度交付金受給者が5年以内に転出したことによる返還。 12万円（受給者から町への返還額）×1/2＝6万円	60	転出者の返納金
合計		60	

令和 3 年度 事業説明書

1　基本情報

事業番号	1552	事業名	プレミアム付き「地元商店応援券」発行事業	事業区分	■新規　□継続
担当課	商工観光課		担当係	商工係	
予算区分	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	11	新型コロナウイルス感染症対策費

2　補正後の事業費等

項目	補正前	今回補正額	財源内訳					備考
			国庫支出金	県支出金	その他	起債	一般財源	
6号補正9月定例	42,300	1,860	1,860				0	
補正後		44,160	44,160				0	

3　事業の概要

補正の概要

プレミアム付「地元商店応援券」の申込受付を行った結果、販売冊数（20,000冊）より多く申込みがあったため、抽選にもれた方を対象とした応援券の追加発行を行うもの。

補正の内容

（単位：千円）

細事業等	内容	補正額	財源内訳
プレミアム付き「地元商店応援券」発行事業補助金	【概要】 ・発行総額１億4,000万円（プレミアム率40%）　20,000冊発行 ・7,000円分を１セット5,000円で販売（500円券14枚） ・1人上限５冊まで購入可能 ・使用期間　R3.8.1～R4.1.31（6ヶ月） 【経過】 〇第1回申込（町民限定） 申込期間　R3.7.12～7.18　申込冊数 12,119冊 引換期間　R3.8. 1～8. 7 〇第2回申込（町内外対象）※第１回申込された方も対象 １人上限５冊まで 申込期間　R3.8. 1～8.10　申込冊数　8,616冊 引換期間　R3.8.25～8.31 合計申込冊数　20,735冊（735冊増） 【経費】 〇プレミアム経費　1,470千円（735冊×2千円） 〇事務費　390千円（印刷費298千円、振込・ハガキ等92千円） 【スケジュール】 〇 9月下旬　応援券追加印刷 〇10月上旬～中旬　抽選でもれた方に引換ハガキ発送、引換   	1,860	国 10/10
合計		1,860	

これまでの取組状況や改善点等

・Ｒ２プレミアム付き「ことうら商品券」発行事業　発行総額２億４千万円　プレミアム率20%
20,000セット販売

令和 3 年度 事業説明書

1 基本情報

一般会計

事業番号	407	事業名	船上山管理運営			事業区分	□新規 ■継続
担当課	商工観光課			担当係	観光係		
予算区分	款	6	商工費	項	1 商工費	目	3 観光費

2 当該年度の事業費

項目	補正前	今回補正額	財源内訳					備考
			国庫支出金	県支出金	その他	起債	一般財源	
6号補正9月定例	3,177	1,016					1,016	
補正後		4,193			2,388		1,805	

3 事業の概要

補正の概要

3年に1度行っていた船上山の山焼きがR1,R2と中止になったため、山火事防止、病害虫駆除の観点から実施を計画するもの。

補正の内容

【経過】

①これまで3年に一度の頻度で開催してきた（H29.4が最終の山焼き）
②R1,R2年度と悪天候のため中止となった。
③新芽等が伸びている状況であり、冬期から春期にかけて山焼きを予定する。
※秋期は草木の燃え残りの可能性が高い。
④R3年4月に計画したが、悪天候のため中止となった。
事前・当日の準備を行ったため、その作業代金をR2→R3繰越金で執行済。
@R2→R3繰越額1,082千円－執行済額822千円＝残額260千円
（執行済額内訳：刈払・集積作業：446千円 予行演習：94千円 機械損料：141千円 諸経費：141千円）

▼草木の状況



【R2,R3の動き】

・R3.3/8 :防火帯草刈り ・R3.3/14:予行演習
・R3.3/21,3/28,4/18:荒天のため山焼き中止
・5月以降は利用客の増加、草がのびきり火の勢いが強くなるため実施不可

【今回の補正予算】

細事業等	内容	補正額	財源内訳
食糧費:山焼き	①消防団用食糧（食糧・飲料） 一式@40千円	40	単町
船上山山焼き委託料	①準備刈払・集積作業 410千円 ②予行演習 58千円 ③山焼き作業 165千円 ④機械損料 58千円 ⑤機械器具費 66千円 ⑥諸経費 130千円 ⑦①～⑥の消費税 89千円 合計 976千円	976	単町
合計		1,016	





【スケジュール】

日	月	火	水	木	金	土
2/6	7	8	9	10	11	12
	積雪状況 判断					
13	14	15	16	17	18	19
	関係機関調整・準備					
20	21	22	23	24	25	26
27	28	3/1	2	3	4	5
		①草刈り				

日	月	火	水	木	金	土
6	7	8	9	10	11	12
	●予行演習					
13	14	15	16	17	18	19
	●③山焼き					
20	21	22	23	24	25	26
	●④予備日					
27	28	29	30	31	4/1	2

これまでの取組状況や改善点等

・R2年度は3月の下旬のみを予定し、悪天候に対応出来なかったが、今年度は2月の下旬に実施を計画し悪天候への対応期間を長くとる。積雪の有無により消防団等と連携したスケジュール調整を行う。

令和 3 年度 事業説明書

1　基本情報

一般会計

事業番号	35	事業名	白鳳祭			事業区分	□新規 ■継続	
担当課	商工観光課			担当係	観光係			
予算区分	款	6	商工費	項	1	商工費	目	3	観光費

2　補正後の事業費等

項目	補正前	今回補正額	財源内訳					備考
			国庫支出金	県支出金	その他	起債	一般財源	
6号補正 9月定例	3,200	△ 3,200			△ 2,500		△ 700	ふるさと未来夢基金　△2,500千円
補正後	0				0		0	

3　事業の概要

補正の概要	新型コロナウイルス感染症の動向を踏まえ、白鳳祭実行委員会が白鳳祭を中止することを決定したことに伴う白鳳祭運営費補助金の減額を行うもの。
補正の内容	（単位：千円）

細事業等	内容	補正額	財源内訳
白鳳祭運営費補助金	白鳳祭の中止に伴う補助金の減額 ・意見交換会開催　2回 ・実行委員会開催　3回 ・企画部会開催　5回	△ 3,200	ふるさと未来夢基金 △2,500
合計		△ 3,200	

これまでの取組状況や改善点等	・経過として、白鳳祭実行委員会では、以前よりさらに住民参画の祭りとするため、年明けから５回の企画部会を開催し、祭りの内容を協議してきた。 ・来年度へ向けた改善点等は、魅力あふれる琴浦町の文化や伝統を継承し、多くの人にふるさとの素晴らしさや誇りを伝えることを目的に白鳳祭実行委員会を中心とした住民参画の祭りを推し進める。

令和 3 年度 事業説明書

1 基本情報

一般会計

事業番号	1079	事業名	道の駅琴の浦管理運営事業			事業区分	□新規 ■継続	
担当課	商工観光課			担当係	観光係			
予算区分	款	6	商工費	項	1	商工費	目	3 観光費

2 補正後の事業費等

項目	補正前	今回補正額	財源内訳					備考
			国庫支出金	県支出金	その他	起債	一般財源	
6号補正 9月定例	18,995	2,263					2,263	
補正後		21,258			13,401		7,857	

3 事業の概要

補正の概要

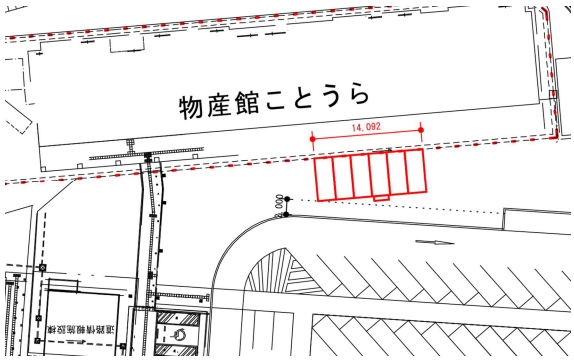
●補正の概要
　物産館ことうらリニューアル改修工事期間中に、全館休業期間が生じることから、営業継続による従業員の雇用確保及び観光客の継続利用を促進するため、仮店舗を設置する。
　地域振興施設である物産館ことうらのリニューアル改修工事期間中に、地域の賑わいの創出・地域の活性化への寄与及び土産物購入等の道路利用者や地域住民の利便を図るため、施設南側の国土交通省の道路用地へ、琴浦うまいもんや（株式会社ことうら）が土産物販売を行う仮店舗を設置する経費を補正予算として計上する。
　・琴浦うまいもんや：土産物販売のみ　※新型コロナ感染拡大防止に努めた営業を行う
　・赤碕町漁協：仮店舗の設置の意向無し
●経過等
・物産館ことうらのテナント契約期間中において、改修工事を行うこととなったため、現テナントの営業を継続できるよう、協議を重ねてきた。
　その結果、赤碕町漁協は道の駅ポート赤碕を代替店舗として活用するため設置の意向は無く、琴浦うまいもんやは、物産館ことうらにしか店舗がないため、設置意向があった。
・地元企業である「株式会社ことうら」は、町内の６事業者（宝製菓、山本おたふく堂、油井かまぼこ、東伯ガス、東伯シティ、大山乳業）が結集した会社である。
・町民の雇用の継続確保など、公共性・公益性に配慮する観点からも、官民が連携して、仮店舗の設置に取り組むべき必要がある。

補正の内容

（単位：千円）

細事業等	内容	補正額	財源内訳
【新】物産館ことうら南側仮店舗設置業務委託料	①６連棟平屋ユニットハウス　一式　571千円 ②設置費　一式　311千円 ③電気・上下水道工事　一式　757千円 ④その他経費　624千円 合計　2,263千円 ※道路占用許可は町が行う。	2,263	町費
合計		2,263	

●設置予定位置図



●設置イメージ図



●設置スケジュール

10月 上・中旬	10月 下旬	～	3月 下旬
契約 占用許可	設置	5ヶ月	撤去

これまでの取組状況や改善点等

▼これまでの取組状況
　物産館ことうらは地域振興施設として、町が整備し、町がｵｰﾅｰとしてﾃﾅﾝﾄ運営を行い、10年が経過。
▼改善点
　「稼ぐ観光」を目的として町の観光の玄関口として「道の駅琴の浦」の一層の拠点化が必要となる。
　このため、物産館ことうらにおいて、新型コロナ感染症対策も含めたフードコート等のリニューアル改修工事を行うとともに指定管理者制度の導入や情報発信の強化を行う。

令和 3 年度 事業説明書

1　基本情報

一般会計

事業番号	1258	事業名	課税事務			事業区分	□新規 ■継続
担当課	税務課			担当係	課税係		
予算区分	款	2	総務費	項	2	徴税費	目	2	賦課徴収費

2　補正後の事業費等

項目	補正前	今回補正額	財源内訳					備考
			国庫支出金	県支出金	その他	起債	一般財源	
6号補正 9月定例	11,083	99					99	
補正後		11,182					11,182	

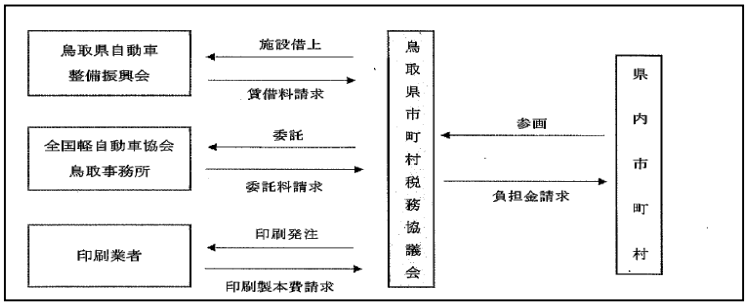
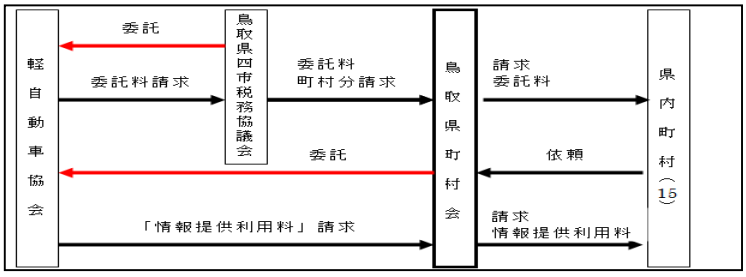
3　事業の概要

補正の概要

確定申告の混雑を避けるため、また新型コロナウイルス等感染症防止のため、予約システムを導入する。
令和3年8月1日より軽自動車協会への委託体制が変更のため、手数料から負担金へ予算の組替を行う。

補正の内容

（単位：千円）

細事業等	内容	補正額	財源内訳
【新】予約システム使用料	予約システムを使用することで、受付時の混雑の軽減や新型コロナウイルス等の感染症の予防措置を行う。 システム初期費用@20千円×1.1＝22千円 月額利用料@10千円×6月分前払×1.1＝66千円 従量課金（2月分）501～1,000件　@5千円×1.1＝5.5千円 従量課金（3月分）501～1,000件　@5千円×1.1＝5.5千円 ※月500件以下は課金なし	99	単町
【新】鳥取県市町村税務協議会負担金	令和3年8月1日、鳥取県四市税務協議会に全15市町村が加入し、鳥取県市町村税務協議会が設立。軽自動車税関係申告書取扱事務の委託体制が変わった。町では軽自動車税申告書等事務手数料として予算計上していたが、体制変更後は市町村税務協議会負担金として請求されるため、手数料から負担金へ予算の一部組替を行う。 ＜令和3年8月からの体制＞  ＜従来の体制＞  	503	単町（組替）
軽自動車税申告書等事務取扱手数料	同上	△ 503	単町（組替）
合計		99	

これまでの取組状況や改善点等

Ｒ２年度の確定申告において、会場の混雑（特に赤碕会場）があり、また新型コロナウイルス対策における密を避ける対策が十分とは言えなかったため、本年度は予約システム導入により改善を図る。

令和 3 年度 事業説明書

1 基本情報

一般会計

事業番号	191	事業名	国土地籍調査事業			事業区分	□新規 ■継続	
担当課	税務課			担当係	地籍調査係			
予算区分	款	5	農林水産業費	項	1 農業費	目	6	地籍調査事業費

2 補正後の事業費等

項目	補正前	今回補正額	財源内訳					備考
			国庫支出金	県支出金	その他	起債	一般財源	
6号補正 9月定例	31,856	△ 7,175	△ 3,670	△ 1,836			△ 1,669	
補正後	24,681		10,629	5,313			8,739	

3 事業の概要

補正の概要

地籍調査事業の国の補助金交付決定額が要望額より少額だったことに伴う事業量減少や、業務委託料の入札請差による減額を行うものである。

補正の内容

（単位：千円）

細事業等	内容	補正額	財源内訳
地籍調査事業 (補助対象分)	筆界等の明確化、公共事業の円滑な実施などのため、地籍調査を実施する経費である。 （１）委託料の減額　△6,800千円 ①内容　　地籍調査事業の業務委託料 ②理由 ○国の補助金交付決定額が要望額より少額だったことに伴い R3新規着手地区の事業量を減少したため 実施面積0.69㎢⇒0.45㎢　0.24㎢減少 実施筆数113筆⇒84筆　29筆減少 ○入札請差による減額 （２）報償金の減額　△375千円 ①内容　　地籍調査推進委員の立会報償金 ②理由 ○国の補助金交付決定額が要望額より少額だったことに伴い R3新規着手地区の事業量を減少したため ○委託業者の現地踏査の結果、立会日数が見込みより少なくなったため 長狭物・一筆地調査11日＋再立会等予備日4日＝15日 立会日数44日⇒15日　29日減少 ③単価等　単価6,477円×減少分日数29日×2人/日＝△375千円	△ 7,175	国(1/2) 県(1/4) 町(1/4)
合計		△ 7,175	

これまでの取組状況や改善点等

R2年度から、一筆地調査（現地調査）受付時に欠席者への電話を行っている。また、H30年度から、現地調査期間中に未立会者等へ電話・臨戸・通知等による早期対処を行っている。調査成果の法務局送付遅延の一番の原因は、未立会・未閲覧者の対応に時間を要することである。登記されることで調査成果が活用されるようになることから、計画的な法務局送付のため、今後も早期対処・解消に努める。

令和 3 年度 事業説明書

1　基本情報

住宅新築資金等貸付事業特別会計

事業番号	469	事業名	住宅新築資金等貸付事業			事業区分	□新規 ■継続
担当課	税務課			担当係	徴収係		
予算区分	款			項		目	

2　補正後の事業費等

項目	補正前	今回補正額	財源内訳					備考
			国庫支出金	県支出金	その他	起債	一般財源	
1号補正 9月定例	16,281	△ 1,734					△ 1,734	
補正後		14,547					14,547	

3　事業の概要

補正の概要	前年度決算による繰越金の減額に伴い、歳入歳出を減額補正するもの。

補正の内容

（単位：千円）

細事業等	内容	補正額	財源内訳
住宅新築資金等貸付事業（操出金）	前年度決算による繰越金の減額に伴い、歳出予算を減額補正する。	△ 866	単町
住宅新築資金等貸付事業（予備費）	歳入歳出の差額を予備費として確保するものです。	△ 868	単町
合計		△ 1,734	

これまでの取組状況や改善点等	

令和 3 年度 事業説明書

1　基本情報　　一般会計

事業番号	135	事業名	農業研修施設・広場管理			事業区分	□新規 ■継続		
担当課	農林水産課			担当係	農林水産振興係				
予算区分	款	5	農林水産業費	項	1	農業費	目	2	農業総務費

2　補正後の事業費等

項目	補正前	今回補正額	財源内訳					備考
			国庫支出金	県支出金	その他	起債	一般財源	
6号補正9月定例	2,882	209					209	
補正後		3,091			25		3,066	

3　事業の概要

補正の概要	7月豪雨の影響により被害のあった大父木地親水公園駐車場の舗装修繕を行う。
補正の内容	（単位：千円）

細事業等	内容	補正額	財源内訳
修繕料	7月豪雨の影響により大父木地親水公園駐車場の舗装の一部（約19㎡）が破損したため修繕を行う。	209	単町
合計		209	

大父木地親水公園駐車場



これまでの取組状況や改善点等	

令和 3 年度 事業説明書

1　基本情報

一般会計

事業番号	145	事業名	農業振興対策事業			事業区分	□新規	■継続	
担当課	農林水産課			担当係	農林水産振興係				
予算区分	款	5	農林水産業費	項	1	農業費	目	3	農業振興費
事業期間	開始	平成16年度		終了	ー		実施主体	■琴浦町	■その他

2　補正後の事業費等

項目	補正前	今回補正額	財源内訳					備考
			国庫支出金	県支出金	その他	起債	一般財源	
6号補正 9月定例	26,784	63		31			32	
補正後	26,847			19,739			7,108	

3　事業の概要

補正の概要

7月豪雨による浸水被害のあった農産物の緊急防除等に要する経費の支援を行う。

補正の内容

（単位：千円）

細事業等	内容	補正額	財源内訳
【新】 大雨被害農作物緊急防除対策事業補助金	7月豪雨による浸水被害のあった園芸品目（スイカ、ブドウ、ミニトマト）の緊急防除等に要する経費の支援を行う。 事業主体：ＪＡ鳥取中央等 補助率　：2/3（県1/3、町1/3） 補助金額：3,600円/10a×260a×2/3＝62,400円 【歳入】 大雨被害農作物緊急防除対策事業補助金　31千円	63	県(1/2) 町(1/2)
合計		63	

これまでの取組状況や改善点等

令和 3 年度 事業説明書

1 基本情報

一般会計

事業番号	164	事業名	野菜振興対策事業			事業区分	□新規 ■継続	
担当課	農林水産課			担当係	農林水産振興係			
予算区分	款	5	農林水産業費	項	1 農業費	目	3	農業振興費

2 補正後の事業費等

項目	補正前	今回補正額	財源内訳					備考
			国庫支出金	県支出金	その他	起債	一般財源	
6号補正 9月定例	67,293	△ 35,867		△ 32,972			△ 2,895	
補正後	31,426			25,376			6,050	

3 事業の概要

補正の概要	特定野菜等供給産地育成価格差補給事業の単価改正に伴い負担金の増額を行う。 県中部のブロッコリー産地の推進を図るため、県事業の活用による省力化・効率化等に必要な機械導入等について、収量向上、品質安定のための取組み支援を行う。また、国産地パワーアップ事業の対象外となった導入予定の機械等について当該補助金の減額を行う。

補正の内容

（単位：千円）

	細事業等	内容	補正額	財源内訳
	特定野菜等供給産地育成価格差補給事業負担金	4月1日付の単価改正に伴う増額。 増額：423,835円（支出見込額424千円 - 当初予算額0円） 品目：ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ、ｽｲｰﾄｺｰﾝ、ﾐﾆﾄﾏﾄ、白ねぎ	424	単町
ブロッコリー産地の広域化・生産強化総合対策事業	生産規模拡大支援事業補助金（産地ﾊﾟﾜｰｱｯﾌﾟ事業）	ブロッコリー生産に係る大型トラクターなどの機械が面積要件に合わず、国の産地パワーアップ事業の対象外となったことに伴う減額。 事業主体：生産部（個人・法人10件〔当初30件〕） △43,200千円（補正後:14,613千円－当初:57,813千円） 【歳入】 産地ﾊﾟﾜｰｱｯﾌﾟ事業費補助金 △37,211千円（補正後:14,174千円－当初:51,385千円）	△ 43,200	国△25,235 県△11,976 町△ 5,989
	【新】 生産技術向上・規模拡大支援補助金（ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ特出事業）	ブロッコリー産地の強化を図るため、作業の省力・効率化、品質向上に係る機械・施設等の導入に必要な経費を助成する。 事業主体：生産部（個人8件） 補助率　：1/2（県1/3、町1/6） 補助金額：事業費9,417千円×1/2＝4,709千円 事業内容：ブロードキャスター、予冷庫、高畝用追肥機 電動台車、作業小屋　等 【歳入】 ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ産地の広域化･生産強化総合対策事業費補助金 3,139千円	4,709	県(2/3) 町(1/3)
	【新】 基盤整備支援補助金（ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ特出事業）	ブロッコリー産地の拡大を図るため、遊休農地の解消等による農地の生産環境維持及び条件整備等に必要な経費を助成する。 事業主体：生産部（個人3件） 補助率　：10/10（県1/2、町1/2） 補助金額：事業費2,200千円×10/10＝2,200千円 事業内容：果樹園跡整備90a（石礫除去・果樹棚撤去等） 【歳入】 ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ産地の広域化･生産強化総合対策事業費補助金 1,100千円	2,200	県(1/2) 町(1/2)
	合計		△ 35,867	

これまでの取組状況や改善点等	

令和 3 年度 事業説明書

1　基本情報

一般会計

事業番号	899	事業名	果樹振興対策事業			事業区分	□新規 ■継続	
担当課	農林水産課			担当係	農林水産振興係			
予算区分	款	5	農林水産業費	項	1	農業費	目	3	農業振興費

2　補正後の事業費等

項目	補正前	今回補正額	財源内訳					備考
			国庫支出金	県支出金	その他	起債	一般財源	
6号補正9月定例	27,132	2,097		△ 683			2,780	
補正後		29,229		26,448			2,781	

3　事業の概要

補正の概要

4月18日の降雹により被害を受けた果樹園等における緊急防除に要する経費の支援を行う。
また、降雹や強風等による被害を防ぐ多目的防災網の設置を推進するため、設置に要する経費の支援を行う。

補正の内容

（単位：千円）

細事業等	内容	補正額	財源内訳
【新】 令和3年度雹害対策緊急支援事業	4月18日の降雹により被害を受けた果樹園の緊急防除等に要する経費の支援を行う。 事業主体：ＪＡ鳥取中央など 補助率　：2/3（県1/3、町1/3） 補助金額：4,000円/10a×3,435.25a×2/3＝916,066円 【歳入】 令和3年度柿梨等霜雹害対策緊急支援事業費補助金　458千円	917	県(1/2) 町(1/2)
鳥取梨生産振興事業補助金	○鳥取梨生産振興事業【ＪＡ実施分】 鳥取梨生産振興事業における今年度のＪＡ実施分事業要望に基づき、所要見込額と既定予算額との差額を減額する。 △4,700千円（支出見込額13,534千円 - 予算現額18,234千円） 【歳入】 鳥取梨生産振興事業費補助金（ＪＡ実施分）　△5,061千円	1,180	県(2/3) など
	【新】 ○気象災害に強い施設整備事業【生産部実施分】 多目的防災網の設置に要する経費の支援を行う。 ※当初、実施予定１件（県補助1/3）で予定していたが、4月の降雹被害を受けて設置要望が計6件に増えた。さらに、梨生産部からの支援要望もあり、町補助1/6の嵩上げを行う。 事業主体：ＪＡ鳥取中央琴浦梨生産部 補助率　：1/2（県1/3、町1/6） 補助金額：300千円/10a×196a＝5,880千円 【歳入】 鳥取梨生産振興事業費補助金（生産部実施分）　3,920千円		県(2/3) 町(1/3)
合計		2,097	

これまでの取組状況や改善点等

令和 3 年度 事業説明書

1　基本情報　　一般会計

事業番号	1139	事業名	農業後継者育成対策事業			事業区分	□新規 ■継続
担当課	農林水産課			担当係	農林水産振興係		
予算区分	款	5	農林水産業費	項	1 農業費	目	3 農業振興費

2　補正後の事業費等

項目	補正前	今回補正額	財源内訳					備考
			国庫支出金	県支出金	その他	起債	一般財源	
6号補正 9月定例	44,703	1,500		1,000			500	
補正後	46,203			17,732	5,000		23,471	ふるさと未来夢基金　5,000千円

3　事業の概要

補正の概要	新規就農支援施策のうち親元就農交付金の事業実施要望が増加したため、当該交付金の増額を行う。

補正の内容

（単位：千円）

細事業等	内容	補正額	財源内訳
親元就農交付金	認定農業者の後継者として令和３年４月以降に就農した農業者から事業実施の要望が増えたことに伴う増額。 （交付額：100千円/月） 〔当初要望〕 継続　2名×12月＋1名×10月 新規　1名×6月　計4,000千円 〔追加要望〕 新規　2名×6月　1,200千円 1名×3月　300千円 計1,500千円 合計5,500千円 【歳入】 親元就農交付金　1,000千円（1,500千円×2/3）	1,500	県(2/3) 町(1/3)
合計		1,500	

これまでの取組状況や改善点等	

令和 3 年度 事業説明書

1　基本情報

一般会計

事業番号	175	事業名	畜産振興対策事業			事業区分	□新規 ■継続
担当課	農林水産課			担当係	農林水産振興係		
予算区分	款	5	農林水産業費	項	1 農業費	目	4 畜産業費

2　補正後の事業費等

項目	補正前	今回補正額	財源内訳					備考
			国庫支出金	県支出金	その他	起債	一般財源	
6号補正9月定例	370,588	△ 14,274	△ 13,053				△ 1,221	
補正後	356,314		0	340,286			16,028	

3　事業の概要

補正の概要

新型コロナウイルス感染拡大により先進地視察などの研修が中止となったことに伴う補助金の減額。
肉用牛肥育経営安定対策事業に係る積立金の単価が、Ｒ３年度に新型コロナウイルス拡大前の単価まで下がったことに伴う補助金の減額。

事業の内容（どうやって）

（単位：千円）

細事業等	内容	補正額	財源内訳
琴浦町酪農生産基盤拡大強化事業	若手酪農家の人材育成やスキルアップのための先進地視察など研修にかかる費用の助成を予定していたが、コロナ禍のため研修が中止となったことに伴い補助金の減額を行う。 実施主体：琴浦町酪農組合 補助金額：△500千円 （支出見込額0千円 - 当初予算額500千円）	△ 500	単町
琴浦町肉用牛肥育経営安定特別対策事業	肉用牛肥育経営安定対策事業の積立金（国3/4、生産者1/4）の単価変更に伴い補助金の減額変更を行う。 △13,774千円（支出見込1,946千円 - 当初予算15,720千円） （当初）　肉専用種：70千円×1/6×1,220頭＝14,234千円 交雑種：　20千円×1/6×　80頭＝　267千円 乳用種：　19千円×1/6×　385頭＝ 1,219千円 合　計：15,720千円 ⇩ （変更後）肉専用種：　5千円×1/6×1,232頭＝ 1,027千円 交雑種：　13千円×1/6×　75頭＝　163千円 乳用種：　11千円×1/6×　413頭＝　757千円 合　計：　1,946千円 【歳入】地方創生臨時交付金（国）　△13,053千円	△ 13,774	地方創生臨時交付金（国）△13,053 町 △721
合計		△ 14,274	

これまでの取組状況や改善点等

令和 3 年度 事業説明書

1　基本情報

一般会計

事業番号	184	事業名	土地改良事業の推進			事業区分	□新規 ■継続
担当課	農林水産課			担当係	農村整備係		
予算区分	款	5	農林水産業費	項	1 農業費	目	5 農地費

2　当該年度の事業費

項目	補正前	今回補正額	財源内訳					備考
			国庫支出金	県支出金	その他	起債	一般財源	
6号補正 9月定例	122,675	△ 133			△ 132	7,000	△ 7,001	船上山発電所管理特別会計操入金 △133千円、農道占用料　1千円 過疎対策事業債　7,000千円
補正後	122,542			38,012	11,292	42,800	30,438	基幹水利施設北栄町負担分　7,185千円 船上山発電所特別会計　4,095千円 土地改良施設他目的使用料　11千円 農道占用料　1千円

3　事業の概要

補正の概要

船上山発電所管理特別会計の令和2年度決算に伴い繰入金額が減少したため、東伯地区土地改良区連合運営補助金を減額するもの。

補正の内容

（単位：千円）

細事業等	内容	補正額	財源内訳
東伯地区土地改良区連合運営補助金	船上山発電所管理特別会計決算に伴い、東伯地区土地改良区運営補助金を減額する。 ○負担金、補助金及び交付金　△133千円 当初4,228千円 → 変更後4,095千円 【歳入】船上山発電所管理特別会計繰入金　△133千円 当初4,228千円 → 変更後4,095千円	△ 133	船上山小水力発電所施設管理運営事業
合計		△ 133	

これまでの取組状況や改善点等

令和 3 年度 事業説明書

1　基本情報　　一般会計

事業番号	159	事業名	中山間地域等直接支払推進事業			事業区分	□新規 ■継続	
担当課	農林水産課			担当係	農村整備係			
予算区分	款	5	農林水産業費	項	1 農業費	目	5	農地費

2　補正後の事業費等

項目	補正前	今回補正額	財源内訳					備考
			国庫支出金	県支出金	その他	起債	一般財源	
6号補正9月定例	45,943	1,579		1,184			395	
補正後		47,522		35,537			11,985	

3　事業の概要

補正の概要

令和３年度６月までに各集落協定で中山間地域等直接支払交付金事業の取組面積を取りまとめした結果、取組面積の増減等があったため、当該集落協定の交付金の変更を行う。

補正の内容

（単位：千円）

細事業等	内容	補正額	財源内訳
中山間等直接支払推進事業交付金	【歳出】 取組面積の増減によるもの。 ○急傾斜　21.0円×　51,368m2＝1,078,728円 ○緩傾斜　8.0円×　12,165m2＝　97,320円 ○加算　3.0円×134,244m2＝　402,732円 合計　1,578,780円	1,579	国(1/2) 県(1/4) 町(1/4)
合計		1,579	

	急傾斜(m2)	緩傾斜(m2)	加算(m2)	交付額(円)
中津原	49,525		134,244	1,442,757
下三本杉	1,843			38,703
倉坂		12,360		98,880
公文		1,006		8,048
大熊		△ 10,405		△ 83,240
山川		9,204		73,632
合計	51,368	12,165	134,244	1,578,780

【歳入】
中山間地域等直接支払推進事業費補助金
1,184千円（1,579千円×3/4）

これまでの取組状況や改善点等

令和 3 年度 事業説明書

1　基本情報　　一般会計

事業番号	786	事業名	多面的機能支払交付金事業			事業区分	□新規 ■継続	
担当課	農林水産課			担当係	農村整備係			
予算区分	款	5	農林水産業費	項	1 農業費	目	5	農地費

2　補正後の事業費等

項目	補正前	今回補正額	財源内訳					備考
			国庫支出金	県支出金	その他	起債	一般財源	
6号補正 9月定例	88,222	1,579		1,184			395	
補正後		89,801		67,275			22,526	

3　事業の概要

補正の概要	令和３年度６月までに各活動組織で多面的機能支払交付金事業の取組面積を取りまとめした結果、取組面積の増減があったため、当該活動組織の交付金の変更を行う。

補正の内容

（単位：千円）

細事業等	内容	補正額	財源内訳
多面的機能支払交付金	【歳出】 多面的機能支払交付金事業 1,579千円 農地維持支払　+621千円 資源向上（共同）　+279千円 資源向上（長寿命化）+679千円 【歳入】 多面的機能支払事業費補助金 1,184千円（1,579千円×3/4）	1,579	国(1/2) 県(1/4) 町(1/4)
合計		1,579	

	主な変更内容
面積増加組織数　7組織 増加面積　+2,566a	上伊勢、野井倉で取り組みを開始
面積減少組織数　6組織 減少面積　-450a	公道改良工事に伴う用地買収、農地転用
増減面積合計　+2,116a	

これまでの取組状況や改善点等	

令和 3 年度 事業説明書

1 基本情報

一般会計

事業番号	200	事業名	森林整備促進事業			事業区分	□新規 ■継続
担当課	農林水産課			担当係	農林水産振興係		
予算区分	款	5	農林水産業費	項	2 林業費	目	2 林業振興費

2 補正後の事業費等

項目	補正前	今回補正額	財源内訳					備考
			国庫支出金	県支出金	その他	起債	一般財源	
6号補正 9月定例	3,536	1,650		△ 75			1,725	
補正後		5,186		1,454			3,732	

3 事業の概要

補正の概要

予定していた琴浦町在住の林業労働者の雇用がなかったため、森林組合に対する補助金の減額を行う。
林業事業体が開設する林業専用道の施工計画の変更に伴い、整備に要する経費について追加の助成を行う。

事業の内容（どうやって）

（単位：千円）

細事業等	内容	補正額	財源内訳
森林整備担い手育成総合対策事業費補助金	林業労働者の新規雇用が無かったため、雇用に係る健康保険等に要する経費に対する補助金を減額する。 実施主体：鳥取県中部森林組合 補助金額：△150千円（支出見込0千円 - 当初予算150千円） 【歳入】 森林整備担い手育成総合対策事業費補助金　△75千円	△ 150	県(1/2) 町(1/2)
基幹的路網整備事業費補助金	福永地内の作業道奥山線について、①整備区間の拡張、②急勾配による耐久性等に係る対応が必要、となったことよる事業費の増加に対して追加の助成を行う。また、搬出間伐を促進するため、搬出間伐が全く行われていない森林に専用道を整備する場合に補助の拡充を行う。 1,800千円（支出見込額3,600千円 - 当初予算額1,800千円） 実施主体：鳥取県中部森林組合 総事業量：L＝900m（当初600m） 総事業費：36,014千円 町補助額：国・県補助残の1/2 15度以上25度未満　上限1.5千円/m 25度以上　上限3千円/m ※搬出間伐未実施の森林に専用道を整備する場合 補助率：国・県補助残の2/3 15度以上25度未満　上限2千円/m 25度以上　上限4千円/m 支出見込額：4千円/m×900m＝3,600千円	1,800	単町
合計		1,650	

これまでの取組状況や改善点等

令和 3 年度 事業説明書

1　基本情報　　**一般会計**

事業番号	1430	事業名	森林環境譲与税関連事業			事業区分	□新規 ■継続		
担当課	農林水産課			担当係	農林水産振興係				
予算区分	款	5	農林水産業費	項	2	林業費	目	2	林業振興費

2　補正後の事業費等

項目	補正前	今回補正額	財源内訳					備考
			国庫支出金	県支出金	その他	起債	一般財源	
6号補正9月定例	13,405	2					2	
補正後		13,407			3,473		9,934	森林環境譲与税基金

3　事業の概要

補正の概要	国から町へ交付される森林環境譲与税（Ｒ２年度分）基金積立金の不足分の積み立てを行う。
事業の内容（どうやって）	（単位：千円）

細事業等	内容	補正額	財源内訳
森林環境譲与税基金積立金	森林環境譲与税（Ｒ２年度分）の基金積立不足分の積み立てを行う。 基金積立金（Ｒ２年度不足分）　2千円	2	単町
合計		2	

これまでの取組状況や改善点等	

令和 3 年度 事業説明書

1　基本情報

一般会計

事業番号	770	事業名	現年発生農地小災害復旧事業			事業区分	□新規 ■継続
担当課	農林水産課			担当係	農村整備係		
予算区分	款	10	災害復旧費	項	1	農林水産業災害復旧費	目	1	現年発生農地災害復旧費

2　補正後の事業費等

項目	補正前	今回補正額	財源内訳					備考
			国庫支出金	県支出金	その他	起債	一般財源	
6号補正 9月定例	4,000	3,960		162	396	1,800	1,602	地元分担金
補正後		7,960		162	396	1,800	5,602	地元分担金

3　事業の概要

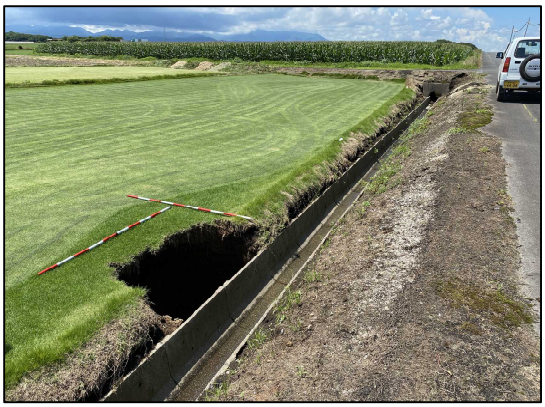
補正の概要

7月7日～8日の豪雨により発生した小規模な農地災害の復旧を行うため、必要な経費の補正を行うもの。

補正の内容

（単位：千円）

細事業等	内容	補正額	財源内訳
【新】 工事請負費	小災害（起債、単県）工事請負費　3,960千円 起債9件（13万円～40万円）：3,600千円 単県3件（～13万円）：360千円	3,960	県162 起債1,800 地元396 町1,602
合計		3,960	



農地(畑)の陥没(槻下)



農地(田)法面の崩落(美好)

【歳入】

○県支出金　　162 千円

しっかり守る農林基盤交付金　補助率：分担金を除いた1/2

（360千円-36千円）×1/2＝162千円

○分担金　　396 千円

（3,600千円＋360千円）×10%＝396千円

負担率：10%（農地）

○起債　　1,800 千円

農地等小災害復旧事業債　農地(激甚)　充当率：50%

3,600千円×50%≒1,800千円（10万円未満切捨て）

これまでの取組状況や改善点等

令和 3 年度 事業説明書

1　基本情報

一般会計

事業番号	669	事業名	現年発生農業用施設小災害復旧事業			事業区分	□新規 ■継続	
担当課	農林水産課			担当係	農村整備係			
予算区分	款	10	災害復旧費	項	1 農林水産業災害復旧費	目	2	現年発生農業用施設災害復旧費

2　補正後の事業費等

項目	補正前	今回補正額	財源内訳					備考
			国庫支出金	県支出金	その他	起債	一般財源	
6号補正 9月定例	13,730	6,240		114	312	3,900	1,914	地元分担金
補正後		19,970		114	312	3,900	15,644	地元分担金

3　事業の概要

補正の概要

7月7日～8日の豪雨により発生した小規模な農業用施設災害の復旧を行うため、必要な経費の補正を行うもの。

補正の内容

（単位：千円）

細事業等	内容	補正額	財源内訳
【新】 工事請負費	小災害（起債、単県）工事請負費　6,240千円 起債15件（13万円～40万円）：6,000千円 単県2件（～13万円）：240千円	6,240	県114 起債3,900 地元312 町1,914
合計		6,240	



堤外水路の壁が破損（八幡）



土砂で取水口が埋塞（杉下）

【歳入】

○県支出金　　114 千円
　しっかり守る農林基盤交付金　補助率：分担金を除いた1/2
　（240千円-12千円）×1/2＝114千円

○分担金　　312 千円
　（6,000千円＋240千円）×5%＝312千円
　負担率：5%（農業用施設）

○起債　　3,900 千円
　農地等小災害復旧事業債　農業用施設（激甚）　充当率：65%
　6,000千円×65%＝3,900千円（10万円未満切捨て）

これまでの取組状況や改善点等

令和 3 年度 事業説明書

1　基本情報

一般会計

事業番号	771	事業名	現年発生林道小災害復旧事業			事業区分	□新規 ■継続	
担当課	農林水産課			担当係	農村整備係			
予算区分	款	10	災害復旧費	項	1	農林水産業災害復旧費	目	3	現年発生林道災害復旧費

2　補正後の事業費等

項目	補正前	今回補正額	財源内訳					備考
			国庫支出金	県支出金	その他	起債	一般財源	
6号補正 9月定例	400	9,600			480	6,200	2,920	地元分担金
補正後		10,000			480	6,200	3,320	地元分担金

3　事業の概要

補正の概要

7月7日～8日の豪雨により発生した小規模な林道災害の復旧を行うため、必要な経費の補正を行うもの。

補正の内容

（単位：千円）

細事業等	内容	補正額	財源内訳
【新】 工事請負費	小災害（起債）工事請負費　9,600千円 起債24件（13万円～40万円）：9,600千円	9,600	起債6,200 地元480 町2,920
合計		9,600	



林道本谷線　倒木（中村）



林道宮谷線　路面洗堀（別宮）

○分担金　　480 千円
9,600千円×5%＝480千円
負担率：5%（林道）

○起債　　6,200 千円
農地等小災害復旧事業債　林道（激甚）　充当率：65%
9,600千円×65%≒6,200千円（10万円未満切捨て）

これまでの取組状況や改善点等

令和 3 年度 事業説明書

1　基本情報

事業番号	648	事業名	国県支出返納金			事業区分	□新規 ■継続	
担当課	農林水産課			担当係	農林水産振興係			
予算区分	款	12	諸支出金	項	1	諸費	目	1	国県支出金返納金

2　補正後の事業費等

項目	補正前	今回補正額	財源内訳					備考
			国庫支出金	県支出金	その他	起債	一般財源	
6号補正9月定例	0	107					107	
補正後		107					107	

3　事業の概要

補正の概要	多面的機能支払交付金に係る国及び県交付金の過年度交付金について返還を行う。 令和2年度鳥取県農地及び農業用施設災害復旧事業補助金について返還を行う。

事業の内容（どうやって）

（単位：千円）

細事業等	内容	補正額	財源内訳
多面的機能支払交付金返還金	多面的機能支払交付金に係る対象農用地の面積減があった活動組織の過年度交付金について、認定初年度まで遡り面積減相当分の国及び県交付金の返還を行う。 なお、活動組織に対しては、返還額を相殺した上で本年度交付金の交付を行う。 杉下地区農地・水・環境保全会　（△103a）　44,805円 別所地区農地・水保全管理活動組織（△12a）　8,100円 東伯水土里保全会　（△101a）　46,662円 合計（△216a）　99,567円	100	単町
令和2年度鳥取県農地及び農業用施設災害復旧事業補助金返還金	令和2年度鳥取県農地及び農業用施設災害復旧事業補助金について、検査により補助金の過剰受取が判明したため差額分の返還を行う。 受領済補助金額　1,054,853円 確定補助金額　1,048,531円 差額　6,322円	7	単町
合計		107	

これまでの取組状況や改善点等	

令和 3 年度 事業説明書

1　基本情報

船上山発電所管理特別会計

事業番号	1244	事業名	船上山小水力発電所施設管理運営事業			事業区分	□新規 ■継続		
担当課	農林水産課			担当係	農村整備係				
予算区分	款	1	電気事業費用	項	1	営業費用	目	1	水力発電費

2　補正後の事業費等

項目	補正前	今回補正額	財源内訳					備考
			国庫支出金	県支出金	その他	起債	一般財源	
1号補正9月定例	21,086	△ 133			△ 133		0	前年度繰越金
補正後	20,953				20,953		0	売電収入　16,858 前年度繰越金　4,095

3　事業の概要

補正の概要	令和２年度決算に伴い前年度繰越金が減額となったため、一般会計繰出金（土地改良負担軽減補助金）を減額する。
補正の内容	（単位：千円）

細事業等	内容	補正額	財源内訳
操出金	決算に伴う前年度繰越金の減額のため、一般会計繰出金（土地改良負担軽減補助金）を減額する。 〇繰越額：当初4,228千円 → 変更後4,095千円　　減額133千円 ⇒ 操出先：船上山発電所管理特別会計繰入金 ⇒ 充当先：土地改良事業の推進 【歳入】前年度繰越金　　減額133千円 当初4,228千円 → 変更後4,095千円	△ 133	前年度繰越金
合計		△ 133	

これまでの取組状況や改善点等	

令和 3 年度 事業説明書

1　基本情報　　**一般会計**

事業番号	651	事業名	国保財政基盤強化対策繰出金			事業区分	□新規 ■継続	
担当課	すこやか健康課			担当係	保険係			
予算区分	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	1	社会福祉総務費

2　補正後の事業費等

項目	補正前	今回補正額	財源内訳					備考
			国庫支出金	県支出金	その他	起債	一般財源	
6号補正9月定例	139,375	5,702	1,202	3,443			1,057	
補正後		145,077	17,256	53,095	0	0	74,726	

3　事業の概要

補正の概要	保険税本算定結果に伴う基盤安定繰入の増額、その他繰入（法定外）の実績確定による減額を行うもの。
補正の内容	（単位：千円）
これまでの取組状況や改善点等	

細事業等	内容	補正額	財源内訳
基盤安定（保険税軽減分）	国保税本算定結果に伴う増額を行うもの	3,790	県3/4 町1/4
基盤安定（保険者支援分）	国保税本算定結果に伴う増額を行うもの	2,404	国1/2 県1/4 町1/4
その他（法定外）	昨年度実績確定に伴う減額を行うもの	△ 492	単町
合計		5,702	

令和 3 年度 事業説明書

1　基本情報

一般会計

事業番号	86	事業名	介護保険事業			事業区分	□新規 ■継続
担当課	すこやか健康課			担当係	高齢福祉係		
予算区分	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目 10 介護保険事業

2　補正後の事業費等

項目	補正前	今回補正額	財源内訳					備考
			国庫支出金	県支出金	その他	起債	一般財源	
6号補正 9月定例	322,348	250	0	0	0	0	250	
補正後		322,598	11,306	5,653	0	0	305,639	

3　事業の概要

補正の概要	町繰繰出金の補正
補正の内容	・6号補正　250千円

（単位：千円）

細事業等	内容	補正額	財源内訳
介護保険特別会計への繰出	繰出金　250千円 介護保険特別会計への町繰出金　250千円 内訳：地域支援事業（包括任意）　10千円 職員給与費　240千円 ※介護保険特別会計補正予算　43,682千円 財源：国支出金　20千円 県支出金　10千円 過年度精算金　76千円 基金取崩　548千円 繰越金　42,778千円 町繰入金　250千円	250	単町
合計		250	

令和 3 年度 事業説明書

1　基本情報

一般会計

事業番号	1169	事業名	国県返納金			事業区分	□新規 ■継続
担当課	すこやか健康課			担当係	高齢福祉係		
予算区分	款	12	諸支出金	項	1 諸費	目	1 国県支出金返納金

2　補正後の事業費等

項目	補正前	今回補正額	財源内訳					備考
			国庫支出金	県支出金	その他	起債	一般財源	
6号補正9月定例	304	2,345	0	0	0	0	2,345	
補正後		2,649	0	0	0	0	2,649	

3　事業の概要

補正の概要	障害者医療費国庫負担金、障がい者医療費県負担金の追加、未熟児養育事業国庫負担金返納金の減額。

補正の内容

（単位：千円）

細事業等	内容	補正額	財源内訳
返納金	障害者医療費国庫負担金返還金（令和2年度分） 障害者医療費県負担金返還金（令和2年度分）	1,042	
返納金	未熟児養育事業国庫負担金返納金(令和2年度分)	△ 15	
返納金	鳥取県健康増進事業費補助金	23	
返納金	感染症予防費国庫負担金（風しん対策）	1,281	
返納金	国・低所得者保険料軽減負担金返納金(令和2年度分)　9,000円 鳥取県低所得者保険料軽減負担金返納金(令和2年度分)4,500円	14	
合計		2,345	

令和 3 年度 事業説明書

1　基本情報

国民健康保険特別会計

事業番号		事業名	保健事業費			事業区分	□新規 ■継続
担当課	すこやか健康課			担当係	保険係		
予算区分	款	6	保健事業費	項		目	

2　補正後の事業費等

項目	補正前	今回補正額	財源内訳					備考
			国庫支出金	県支出金	その他	起債	一般財源	
2号補正9月定例	21,885	△ 130		△ 859			729	
補正後	21,755		0	10,212	0	0	11,543	

3　事業の概要

補正の概要	新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、事業内容を一部変更し、不要額を減額する。
補正の内容	（単位：千円）
これまでの取組状況や改善点等	

細事業等	内容	補正額	財源内訳
エイズ予防啓発	中学３年生を対象とした性教育講演会の県外講師の招聘を中止し、県内講師に変更（県事業で無料）。 【財源】 県支出金（特別調整交付金分）△31千円 一般財源△99千円	△ 130	県支出金 一般財源

令和 3 年度 事業説明書

1　基本情報　　**国民健康保険特別会計**

事業番号		事業名	その他国保に関する事業			事業区分	□新規　■継続
担当課	すこやか健康課			担当係	保険係		
予算区分	款			項		目	

2　補正後の事業費等

項目	補正前	今回補正額	財源内訳					備考
			国庫支出金	県支出金	その他	起債	一般財源	
2号補正 9月定例	528,967	10,411			△ 22,768		33,179	保険基盤安定繰入金（保険税軽減分） 3,790千円 〃（保険者支援分）2,404千円 その他(法定外)繰入金▲492千円 基金繰入金▲26,470千円 延滞金等▲2,000千円
補正後		539,378	1	19,225	144,558	0	375,594	

3　事業の概要

補正の概要	保険税の本算定結果に伴い生じた剰余金を基金積立するもの。
補正の内容	（単位：千円）

細事業等	内容	補正額	財源内訳
財政調整基金積立金	保険税の本算定の結果、当初予想していた新型コロナの影響による大幅な調定額の減少も見られず、例年並みの保険税収入が見込まれることとなった。このため、前年度繰越金の確定、保険税等の増額等に伴い生じた剰余金を財政調整基金へ積み立てする。 【財源】 前年度繰越金10,411千円 【基金残高】 前年度末34,545千円＋10,411千円（今回積立額）＝44,956千円	10,411	一般財源

これまでの取組状況や改善点等	

令和 3 年度 事業説明書

1　基本情報

介護保険特別会計

事業番号		事業名	介護保険特別会計			事業区分	□新規 ■継続
担当課	すこやか健康課			担当係	高齢福祉係		
予算区分	款			項		目	

2　補正後の事業費等

項目	補正前	今回補正額	財源内訳					備考
			国庫支出金	県支出金	その他	起債	一般財源	
2号補正 9月定例	2,168,290	43,682	20	10	43,652	0	0	【その他内訳】 過年度精算金76、基金取崩548、 町繰入金250、繰越金42,778
補正後		2,211,972	563,361	303,969	1,347,769	0	7	

3　事業の概要

補正の概要	人件費の減額。R2実績による償還金他。
補正の内容	・2号補正　43,682千円

（単位：千円）

細事業等	内容	補正額	財源内訳
一般管理 （498）	人件費の増額	240	町繰入金 240
包括支援センター運営費 （789）	人件費1,000円 負担金(介護支援専門員実務研修費)の増額　52,000円	53	保険料13 国20 県10 町繰入金 10
介護給付費準備基金（511）	介護給付費準備基金積立金	23,460	保険料548 過年度精算金 76 繰越金 22,836
償還金（659）	R2介護給付費(国)2,632,829円 R2介護給付費(県)1,709,913円 R2地域支援事業(基金)1,642,830円 R2地域支援事業交付金(国)4,735,223円 R2地域支援事業交付金(県)2,595,297円 R2介護保険事業補助金(介護保険システム改修)28,000円	13,345	繰越金 13,345
操出金（517）	一般会計操出金	6,584	繰越金 6,584
予備費（518）	財源組み換え	0	保険料 △13 繰越金13
合計		43,682	

これまでの取組状況や改善点等	

令和 3 年度 事業説明書

1　基本情報　　**後期高齢者医療特別会計**

事業番号		事業名		事業区分	□新規　■継続
担当課	すこやか健康課	担当係	保険係		
予算区分	款	項	目		

2　補正後の事業費等

項目	補正前	今回補正額	財源内訳					備考
			国庫支出金	県支出金	その他	起債	一般財源	
1号補正9月定例	226,551	11					11	
補正後	226,562						226,562	

3　事業の概要

補正の概要	令和2年度繰越額の確定に伴い、歳入歳出予算を補正するもの。

補正の内容

（単位：千円）

細事業等	内容	補正額	財源内訳
予備費	歳入 繰越金　11,000円 （令和2年度繰越額12,000円-令和3年度予算現額1,000円） 歳出 予備費　11,000円	11	一般財源
合計		11	

これまでの取組状況や改善点等	

令和 3 年度 事業説明書

1　基本情報　　**一般会計**

事業番号	1541	事業名	子育て世帯生活支援特別給付金支給事業	事業区分	□新規　■継続
担当課	福祉あんしん課		担当係	生活支援係	
予算区分	款	3	民生費	項	2	児童福祉費	目	6	子育て世帯生活支援特別給付金

2　補正後の事業費等

項目	補正前	今回補正額	財源内訳					備考
			国庫支出金	県支出金	その他	起債	一般財源	
6号補正9月定例	20,755	3,000	3,000				0	新型コロナウイルス感染症セーフティネット強化交付金
補正後		23,755	23,755				0	

3　事業の概要

補正の概要

国から低所得者子育て世帯の対象者要件の緩和が４月末に示されたため、その要件に基づき対象者を再抽出した結果、当初の見込みを上回るために増額するもの。

補正の内容

（単位：千円）

細事業等	内容	補正額	財源内訳
子育て世帯生活支援特別給付金支給事業	○補正理由 １号補正３月31日専決時点では、低所得者子育て世帯の住民税課税要件は「世帯全員が住民税非課税」とされていた。しかし、４月末の国通知は、児童手当の支給要件に合わせ「両親が住民税非課税」とし要件を緩和した。 この要件に基づき対象者を再抽出した結果当初の見込みを上回る人数になった。 ○低所得者子育て世帯の支給要件の緩和 世帯全員が住民税非課税 ↓ 両親が住民税非課税（児童手当の支給要件と合わせたもの） ○対象者数　60人増　38世帯 ○支 給 額　300万円増（児童1人あたり5万円） ○事業の全体像 【補正前】 支給額　2,065万円 対象者　413人 236世帯 ・ひとり親　283人 176世帯 ・低所得者　130人 60世帯 ↓ 【補正後】 支給額　2,365万円 対象者　473人 274世帯 ・ひとり親　283人 176世帯 ・低所得者　190人 98世帯	3,000	国(10/10) 新型コロナウイルス感染症セーフティネット強化交付金
合計		3,000	

令和 3 年度 事業説明書

1　基本情報　　**会計**

事業番号	573	事業名	障がい者福祉費			事業区分	□新規 ■継続	
担当課	福祉あんしん課			担当係	障がい福祉係			
予算区分	款	3	民生費	項	1 社会福祉費	目	9	障がい者福祉費

2　補正後の事業費等

項目	補正前	今回補正額	財源内訳					備考
			国庫支出金	県支出金	その他	起債	一般財源	
6号補正 9月定例	18,848	415		207			208	
補正後		19,263	8,343	2,413	0	0	8,507	

3　事業の概要

補正の概要	重度障がい児者支援事業補助金について、当初見込んでいなかったが、６月に対象者１名に対する補助申請が提出されたことに伴い増額するもの

補正の内容

（単位：千円）

細事業等	内容	補正額	財源内訳
重度障がい児者支援事業補助金	社協ふれあい事業所　１人　2,900円×143日	415	県1/2 町1/2
合計		415	

令和 3 年度 事業説明書

1　基本情報

一般会計

事業番号	1562	事業名	こども園ＩＣＴ導入事業			事業区分	□新規 ■継続		
担当課	子育て応援課			担当係	子ども未来係				
予算区分	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	11	新型コロナウイルス感染症対策費

2　補正後の事業費等

項目	補正前	今回補正額	財源内訳					備考
			国庫支出金	県支出金	その他	起債	一般財源	
6号補正9月定例	0	15,726	15,726	0	0	0	0	
補正後		15,726	15,726				0	

3　事業の概要

補正の概要

こども園のＩＣＴ化により、登降園の受付等において３密を回避し感染防止を図ると共に、園と保護者のコミュニケーションの向上と職員の業務改善を図るため、令和２年度モデル的にしらとりこども園にＩＣＴシステムを導入し、令和３年４月から稼働している。
現在、登降園の受付等において感染防止・事務の効率化の効果が見られている。その他移行段階の業務においても、今後効果が期待できるため、同じシステムを町内全てのこども園に導入する。

補正の内容

（単位：千円）

細事業等	内容	補正額	財源内訳
【新】こども園ＩＣＴ導入事業	○公立園４園にＩＣＴシステムを導入する。 対　象：やばせこども園、こがねこども園 ことうらこども園、ふなのえこども園 事業費：ＩＣＴシステム導入委託料　15,726千円 （内訳） ・整備委託料　15,172千円 ・保守委託料　554千円	15,726	国(10/10)
		15,726	

【園のICT化のイメージ】



これまでの取組状況や改善点等

【R2】しらとりこども園へモデル事業としてＩＣＴシステム導入（4,047千円）

令和 3 年度 事業説明書

1　基本情報

一般会計

事業番号	1561	事業名	防災減災浸水被害防止対策流域等調査事業	事業区分	■新規　□継続
担当課	建設住宅課		担当係	地域整備室	
予算区分	款	7 土木費	項	1 土木管理費	目 1 土木総務費

2　補正後の事業費等

項目	補正前	今回補正額	財源内訳					備考
			国庫支出金	県支出金	その他	起債	一般財源	
6号補正 9月定例	0	15,000				0	15,000	
補正後		15,000	0	0	0	0	15,000	

3　事業の概要

補正の概要

令和３年７月豪雨災害等により被害のあった公文地区周辺及び桜ケ丘地区を対象に、今後の被害防止対策を検討することを目的に、現況調査や流域調査を実施し、どのような対策を実施すれば被害の防止や軽減が図られるのか、調査検討する経費を追加するもの。

補正の内容

（単位：千円）

細事業等	内容	補正額	財源内訳
【新】 委託料	委託料　15,000千円 【内訳】 公文地区浸水被害防止対策流域等調査業務委託料　7,000千円 桜ヶ丘地区浸水被害防止対策流域等調査業務委託料　8,000千円	15,000	単町
合計		15,000	







町道東公文線（公文）の冠水状況



桜ケ丘水路の豪雨当日の様子

これまでの取組状況や改善点等

令和 3 年度 事業説明書

1　基本情報

一般会計

事業番号	237	事業名	住宅管理事業			事業区分	□新規 ■継続
担当課	建設住宅課			担当係	住宅係		
予算区分		7	土木費	項	5	住宅費	目 1 住宅管理費

2　補正後の事業費等

項目	補正前	今回補正額	財源内訳					備考
			国庫支出金	県支出金	その他	起債	一般財源	
6号補正 ９月定例	20,745	2,850					2,850	
補正後		23,595		940	19,805		2,850	

3　事業の概要

補正の概要	退去修繕の増加を見込んで修繕料を増額する。

補正の内容

（単位：千円）

細事業等	内容	補正額	財源内訳
維持管理費	退去修繕 4月～7月　月平均3.25件　150,000円／件 年間見込　39件（3.25件×12ヶ月） 150,000円×39件＝5,850,000円 不足分　5,850,000円　－　3,000,000円（当初予算） ＝　2,850,000円	2,850	単町
合計		2,850	



施工前状況



完 成（DK 壁塗替え修繕）



施工前状況



完成（トイレ壁クロスと床張替）

これまでの取組状況や改善点等	

令和 3 年度 事業説明書

1 基本情報

一般会計

事業番号	1235	事業名	空き家対策事業			事業区分	□新規 ■継続
担当課	建設住宅課			担当係	住宅係		
予算区分	款	7	土木費	項	5	住宅費	目 1 住宅管理費

2 補正後の事業費等

項目	補正前	今回補正額	財源内訳					備考
			国庫支出金	県支出金	その他	起債	一般財源	
6号補正 9月定例	11,535	1,200	600	300			300	
補正後		12,735	4,514	2,257			5,964	

3 事業の概要

補正の概要	危険空家の除却に対する補助金の増額（件数を増加）

補正の内容

（単位：千円）

細事業等	内容	補正額	財源内訳
補助金	空家等対策審議会で認定された特定空家の除却に対しての補助金（5件分） 解体費の1/2（上限額600,000円） 5件分 → 7件分 （2件分の増） 残3件分 600,000円×2件 【八橋2区】   【上中村】   【下光好】  	1,200	国費600 県費300 単町300
合計		1,200	

これまでの取組状況や改善点等	

令和 3 年度 事業説明書

1　基本情報　　**一般会計**

事業番号	558	事業名	分庁舎管理			事業区分	□新規 ■継続	
担当課	上下水道課			担当係	分庁総合窓口係			
予算区分	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	10	分庁管理費

2　補正後の事業費等

項目	補正前	今回補正額	財源内訳					備考
			国庫支出金	県支出金	その他	起債	一般財源	
6号補正 9月定例	12,584	725	0	0	0	0	725	
補正後		13,309					13,309	

3　事業の概要

補正の概要	トイレ修理･エコアイス基板修理･玄関ロビー雨漏により天井修理

補正の内容

（単位：千円）

細事業等	内容	補正額	財源内訳
トイレ修理･エコアイス基板修理･玄関ロビー天井修繕	○トイレ修理（3F男子洋式トイレ他） 3階の男子トイレから水漏れが発生し、2階の男子トイレの天井に漏れたため、天井の張り替えを行う。 1階から3階までの他のトイレも、便器と管の接続の部分から水漏れが発生しているため、ウォシュレットとパッキンの取替を行う。 ○エコアイス基板修繕 7/7の豪雨により、2階空調室外機の基板が壊れエアコンの電源が入らなくなったため修繕を行う。 ○玄関ロビー天井雨漏り 7/7の豪雨により、玄関ロビーの天井が雨漏りしたため、屋上・外壁取合シール打ち替え工事を行う。	725	
合計		725	

令和 3 年度 事業説明書

1　基本情報　　一般会計

事業番号	641・639	事業名	農業集落排水事業繰出金、公共下水道事業繰出金	事業区分	□新規　■継続
担当課	上下水道課		担当係	下水道係	
予算区分	款		項		目	

2　補正後の事業費等

項目	補正前	今回補正額	財源内訳					備考
			国庫支出金	県支出金	その他	起債	一般財源	
6号補正 9月定例	558,037	△ 13,432					△ 13,432	
補正後	544,605						544,605	

3　事業の概要

補正の概要	前年度繰越金確定による減

補正の内容

（単位：千円）

細事業等	内容	補正額	財源内訳
農業集落排水事業 特別会計繰出金	前年度繰越金確定による減	△ 3,856	単町
下水道事業 特別会計繰出金	前年度繰越金確定による減	△ 9,576	単町
合計		△ 13,432	

令和 3 年度 事業説明書

1　基本情報

一般会計

事業番号	1559	事業名	専用水道等の現況調査及び工事費、地元負担等検討事業	事業区分	■新規　□継続
担当課	上下水道課		担当係	上水道係	
予算区分	款	4 衛生費	項	3 上水道費	目 1 上水道費

2　補正後の事業費等

項目	補正前	今回補正額	財源内訳					備考
			国庫支出金	県支出金	その他	起債	一般財源	
6号補正9月定例	0	2,343					2,343	
補正後		2,343					2,343	

3　事業の概要

補正の概要	町内の用水組合が管理する水道施設について資産調査及び評価を行う。

補正の内容

（単位：千円）

細事業等	内容	補正額	財源内訳
【新】 専用水道等資産調査・評価委託業務	町内にあるすべての用水組合（専用水道6地域、飲料水供給施設3地域）の水道施設に対し、資産調査を行う。 ・調査年度は令和3年度～令和4年度 委託料　5,962,000円 ［令和3年度支払予定額　2,343,000円 令和4年度支払予定額　3,619,000円（継続費）］ ・調査結果は各用水組合に提示し、町水道への編入の意向を確認する。 ・なお、町水道に編入するには、老朽化した施設の場合は更新が必要であり、そのための地元負担を求める。	2,343	一般財源
合計		2,343	

これまでの取組状況や改善点等	用水組合は独立して管理運営を行っているため、水道施設の維持管理についてはそれぞれで責任をもって行っていただいている。町としては、水道施設の修理に対して補助金を交付し負担軽減を図ってきたが、耐用年数がかなり経過し、地域の世帯人口も減少してきていることから、今後の維持管理に支障が出ることが想定されるため、将来に向けての「水道のあり方」について検討していく必要がある。

専用水道等資産調査・評価委託業務　5,962千円

調査の目的

・施設の更新に必要な費用の算出のため、専用水道等の施設の状況を調査する。
・今後、町水道に編入する場合に必要となる、固定資産台帳が作成可能な内容の調査を行う。

調査概要

【調査対象】専用水道（倉坂、上郷、川東、別宮、三本杉、大成）
　　飲料水供給施設（岩本、野田、野井倉）
【調査期間】令和３年１１月～令和４年１２月
【調査方法】設計書類等調査、管理者聞き取り、現地確認
【資産調査項目】①土地　②建物
　　③構築物（管路施設、水源地・配水池・ポンプ場施設）
　　④機械及び装置（水源地・配水池・ポンプ場施設）
　　⑤工具器具及び備品　⑥その他
【調査内容】①位置図　②施設規模、構造、井戸能力、配水能力等
　　③管種類及び延長　④経過年数/耐用年数　⑤更新、修繕状況
　　⑥固定資産取得価額
★最終的に、資産台帳（認可時利用可能）を整備する。

今後の予定

R5. 1～3	編入可能更新基準設定（町） ・老朽施設の更新費用の算出 ・補助事業の活用検討 ・地元負担額の決定
R5. 4～10	編入意向確認（各専用水道等へ） ・編入時の地元負担方法 ・編入しない場合の今後の維持管理確認
R5.11 ～12	令和６年度予算要求 ・認可図書作成業務
R5.11 ～R6.3	編入方針策定 ・町水道との接続など検討
R6	認可変更（上水へ編入） ・認可図書作成（業者へ委託） ・変更認可申請（県へ）
R7～	整備実施 ・施設更新（町）

令和 3 年度 事業説明書

1　基本情報　　**水道事業会計**

事業番号		事業名	水道事業			事業区分	□新規 ■継続
担当課	上下水道課			担当係	上水道担当		
予算区分	款	1	水道事業費用	項		目	

2　補正後の事業費等

項目	補正前	今回補正額	財源内訳					備考
			国庫支出金	県支出金	その他	起債	一般財源	
2号補正 9月定例	264,626	1,898			1,303		595	他会計負担金(消火栓維持管理) 1,303千円
補正後	266,524				4,712		261,812	

3　事業の概要

補正の概要	・水源地の非常用発電機の修繕 ・消火栓の修繕（３基） ・企業債の支払利息の増額

補正の内容

（単位：千円）

細事業等	内容	補正額	財源内訳
原水及び浄水費	修繕費 ガーデンヒルズポンプ場 非常用発電機修繕	407	
消火栓維持管理	消火栓修繕 東伯中、逢束、下市にある消火栓３基の修繕	1,304	
支払利息	企業債利息 当初見込より利率が上がったことによる増額	187	
合計		1,898	

令和 3 年度 事業説明書

1　基本情報

水道事業会計

事業番号		事業名	水道事業			事業区分	□新規 ■継続	
担当課	上下水道課			担当係	上水道担当			
予算区分	款	1	資本的支出	項			目	

2　補正後の事業費等

項目	補正前	今回補正額	財源内訳					備考
			国庫支出金	県支出金	その他	起債	一般財源	
2号補正9月定例	321,053	4,659					4,659	
補正後		325,712			3,900	136,000	185,812	他会計負担金　3,900千円

3　事業の概要

補正の概要	・東伯第5水源地取水ポンプ取替工事

補正の内容

（単位：千円）

細事業等	内容	補正額	財源内訳
水源地改良費	機械及び装置購入費 東伯第5水源地取水ポンプ取替工事	4,659	
合計		4,659	

令和 3 年度 事業説明書

1 基本情報

一般会計

事業番号	245	事業名	教育委員会事務局費			事業区分	□新規 ■継続
担当課	教育総務課			担当係			
予算区分	款	9	教育費	項	1 教育総務費	目	2 事務局費

2 補正後の事業費等

項目	補正前	今回補正額	財源内訳					備考
			国庫支出金	県支出金	その他	起債	一般財源	
6号補正 9月定期	27,297	2,000				4,000	△ 2,000	過疎対策事業債 4,000千円
補正後		29,297		237	1	4,000	25,059	

3 事業の概要

補正の概要	八橋小学校6年生に１名転入があり学年人数が36人となったため２学級編成とし、鳥取県への協力金を増額

補正の内容

（単位：千円）

細事業等	内容	補正額	財源内訳
少人数学級の実現	鳥取県小・中・義務教育学校における少人数学級及び複式学級解消の実施に係る協力金を増額 既定予算額 4,000千円（赤碕小学校2学級） 今回補正額 2,000千円（八橋小学校6年）	2,000	単町

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	特別支援	合計
浦安小学校	37 (6)	28 (3)	34 (5)	28 (3)	25 (5)	41 (3)	193 (25)	(25)	218
学級数	2	1	1	1	1	2	8	4 (知・情)	12
聖郷小学校	21 (2)	12 (2)	23	23 (1)	17 (2)	20 (1)	116 (8)	(8)	124
学級数	1	1	1	1	1	1	6	3 (知・肢・情)	9
八橋小学校	30 (2)	28 (1)	25 (1)	26 (5)	25 (2)	36 (3)	170 (14)	(14)	184
学級数	1	1	1	1	1	2	7	4 (知・情・視)	11
赤碕小学校	33 (2)	33 (1)	33 (1)	27 (3)	37 (2)	37 (4)	200 (13)	(13)	213
学級数	2	2	1	1	2	2	10	3 (知・情)	13
船上小学校	21 (2)	13 (2)	17 (1)	23 (2)	26 (2)	20 (1)	120 (10)	(10)	130
学級数	1	1	1	1	1	1	6	2 (知・情)	8
合計 (外人数)	**142 (14)**	**114 (9)**	**132 (8)**	**127 (14)**	**130 (13)**	**154 (12)**	**799 (70)**	**(70)**	**799 (70)**
学級数	**7**	**6**	**5**	**5**	**6**	**8**	**37**	**16**	**53**

	1年	2年	3年	計	特別支援	計
東伯中学校	67 (8)	92 (4)	81 (9)	240 (21)	(21)	261
学級数	3	3	3	9	5 (知・情・病)	14
赤碕中学校	57 (5)	44 (4)	67 (5)	168 (14)	(14)	182
学級数	2	2	2	6	3 (知・情)	9
計 (外人数)	**124 (13)**	**136 (8)**	**148 (14)**	**408 (35)**	**(35)**	**408 (35)**
学級数	**5**	**5**	**5**	**15**	**8**	**23**

合計	2,000	

これまでの取組状況や改善点等	

令和 3 年度 事業説明書

1　基本情報　　**一般会計**

事業番号	262・280	事業名	一般教育振興費			事業区分	□新規 ■継続	
担当課	教育総務課			担当係				
予算区分	款	9	教育費	項	2.3	小学校費・中学校費	目	2 教育振興費

2　補正後の事業費等

項目	補正前	今回補正額	財源内訳					備考
			国庫支出金	県支出金	その他	起債	一般財源	
6号補正 9月定期	34,369	374		100	274			保護者負担金
補正後		34,743	1,703	255	275	0	32,510	

3　事業の概要

補正の概要	修学旅行を県内で実施することとなり、県補助金を活用するため、対象経費を計上する。 赤碕中学校修学旅行（9月22日～23日）
補正の内容	（単位：千円）

細事業等	内容	補正額	財源内訳
修学旅行用バス借上料	バス借上料　＠１８７千円×２台	374	県費 その他

令和 3 年度 事業説明書

1　基本情報　　**一般会計**

事業番号	353	事業名	学校給食事業			事業区分	□新規 ■継続	
担当課	教育総務課			担当係	学校給食センター			
予算区分	款	9	教育費	項	5	保健体育費	目	4	給食センター運営費

2　補正後の事業費等

項目	補正前	今回補正額	財源内訳					備考
			国庫支出金	県支出金	その他	起債	一般財源	
6号補正 9月定期	171,424	209					209	
補正後		171,633			85,602		86,031	

3　事業の概要

補正の概要	調理室内の食器洗浄機の修繕

補正の内容

（単位：千円）

細事業等	内容	補正額	財源内訳
修繕料	食器洗浄機修繕料	209	単町

令和 3 年度 事業説明書

1　基本情報　　**一般会計**

事業番号	325	事業名	一般管理			事業区分	□新規 ■継続	
担当課	社会教育課			担当係	生涯学習係			
予算区分	款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	5	生涯学習センター運営費

2　補正後の事業費等

項目	補正前	今回補正額	財源内訳					備考
			国庫支出金	県支出金	その他	起債	一般財源	
6号補正 9月定例	27,001	2,998					2,998	
補正後		29,999					29,999	

3　事業の概要

補正の概要	まなびタウン空調機器の経年劣化に伴う故障部分の修繕をするもの。

補正の内容

（単位：千円）

細事業等	内容	補正額	財源内訳
空調機器修繕工事	（工事請負費） 空調機器の故障による修繕工事　　2,998千円 経年劣化により修繕を急ぐ箇所についての修繕工事 ・冷却水ポンプ ・動力制御盤表示灯 ・多目的ホール系統空調機ダンパー操作器 ・冷温水２次ポンプ	2,998	単町
合計		2,998	

これまでの取組状況や改善点等	

令和 3 年度 事業説明書

1　基本情報

一般会計

事業番号	680	事業名	下郷地区公民館事業			事業区分	□新規 ■継続	
担当課	社会教育課			担当係	生涯学習係			
予算区分	款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	2	公民館費

2　補正後の事業費等

項目	補正前	今回補正額	財源内訳					備考
			国庫支出金	県支出金	その他	起債	一般財源	
6号補正9月定例	1,970	22					22	
補正後		1,992					1,992	

3　事業の概要

補正の概要	下郷地区公民館の宅内排水工事により下水道整備することに伴い、下水道使用料を計上するもの。

補正の内容

（単位：千円）

細事業等	内容	補正額	財源内訳
使用料	下水道整備により発生する、下水道使用料。 2,400円/月×9ヶ月＝21,600円 ※7月分～3月分	22	単町
合計		22	

これまでの取組状況や改善点等	

令和 3 年度 事業説明書

1　基本情報　　一般会計

事業番号	682	事業名	古布庄地区公民館事業			事業区分	□新規 ■継続	
担当課	社会教育課			担当係	生涯学習係			
予算区分	款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	2	公民館費

2　補正後の事業費等

項目	補正前	今回補正額	財源内訳					備考
			国庫支出金	県支出金	その他	起債	一般財源	
6号補正9月定例	2,933	△343					△343	
補正後		2,590					2,590	

3　事業の概要

補正の概要	古布庄地区公民館屋根改修工事について、入札により減額したため減額するもの。

補正の内容

（単位：千円）

細事業等	内容	補正額	財源内訳
工事請負費	古布庄地区公民館屋根改修工事について、入札により減額したため減額するもの。 契約金額1,477,300円－予算額1,870,000円＝減額390,000円	△390	単町
備品購入（資産外）	両面脚付きホワイトボード（1810㎜×910㎜）	47	単町
合計		△343	

これまでの取組状況や改善点等	

令和 3 年度 事業説明書

1　基本情報　　**一般会計**

事業番号	817	事業名	カウベルホール運営			事業区分	□新規 ■継続	
担当課	社会教育課			担当係	学芸文化係			
予算区分	款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	7	カウベルホール運営

2　補正後の事業費等

項目	補正前	今回補正額	財源内訳					備考
			国庫支出金	県支出金	その他	起債	一般財源	
6号補正9月定例	1,680	2,420			910		1,510	宅内排水工事における鳥取中央農業協同組合負担金額　910,800円
補正後		4,100					4,100	

3　事業の概要

補正の概要	琴浦町カウベルホールは4月に合併浄化槽のブロワーが破損したため、緊急の対応として宅内排水工事を行い下水道整備した。不要になった合併浄化槽の処理を残しているため、埋め戻し工事を行うもの。
補正の内容	（単位：千円） 細事業等 / 内容 / 補正額 / 財源内訳 工事請負費 / 琴浦町カウベルホールの合併浄化槽（４６８人槽）の埋め戻し工事を行うもの。 （合併浄化槽最終汲取り、埋戻処理、コンクリート復旧、廃材撤去処分、電気工事） / 2,365 / 単町 使用料 / 下水道整備により発生する、下水道使用料。 5,500円/月×10ヶ月＝55,000円 ※6月分～3月分 / 55 / 単町 合計 / 2,420 /
これまでの取組状況や改善点等	

令和 3 年度 事業説明書

1　基本情報

一般会計

事業番号	351	事業名	東伯総合公園管理事業			事業区分	□新規 ■継続		
担当課	社会教育課			担当係	社会体育係				
予算区分	款	9	教育費	項	5	保健体育費	目	3	体育施設費

2　補正後の事業費等

項目	補正前	今回補正額	財源内訳					備考
			国庫支出金	県支出金	その他	起債	一般財源	
6号補正9月定例	14,122	1,540					1,540	
補正後		15,662					15,662	

3　事業の概要

補正の概要

東伯総合公園中央園路の照明ポールが腐食により電球が落下の危険がある。４本同時期に設置のため全て支柱ごと撤去し新設する。

補正の内容

（単位：千円）

細事業等	内容	補正額	財源内訳
工事請負費	東伯総合公園屋外照明ポールの修繕	1,540	単町
合計		1,540	







中央園路に4本の照明ポールがあり、照明部分は2本が落下している。残っている2本についても腐食が進み、強風の際に落下の危険がある。

修繕概要：
　既設撤去（照明、柱、基礎処分）、4本の新設

これまでの取組状況や改善点等

令和 3 年度 事業説明書

1 基本情報

一般会計

事業番号	417	事業名	農業者トレーニングセンター運営	事業区分	□新規 ■継続
担当課	社会教育課		担当係	社会体育係	
予算区分	款	9	教育費	項	5 保健体育費	目	3 体育施設費

2 補正後の事業費等

項目	補正前	今回補正額	財源内訳					備考
			国庫支出金	県支出金	その他	起債	一般財源	
6号補正 9月定例	2,443	400					400	
補正後		2,843					2,843	

3 事業の概要

補正の概要

農業者トレーニングセンター東側の旧テニスコートのフェンスが老朽化により、根元が腐食しており、傾いております。今後、隣接する道路へ落下する恐れがあるため、フェンスを撤去し危険を回避するもの。
赤碕中学校区の体育施設の鍵の貸し出しが不便なため、農業者トレーニングセンター玄関前にキーボックスと電灯を設置し利便性を図る。

補正の内容

（単位：千円）

細事業等	内容	補正額	財源内訳
修繕料	農業者トレーニングセンター東側の旧テニスコートのフェンスが老朽化により、根元が腐食しており、傾いている。今後、隣接する道路へ落下する恐れがあるため、フェンスを撤去し危険を回避するもの。	300	単町
委託料	赤碕中学校区の体育施設の鍵の貸し出しが不便なため、農業者トレーニングセンター玄関前にキーボックスと電灯を設置し利便性を図る。	100	単町
合計		400	







フェンス根元部分が腐食し倒壊の恐れあり

これまでの取組状況や改善点等